

篠岡地区学校再編計画

～しのおか学園構想～

(案)

小牧市教育委員会

はじめに

全国的に少子高齢化が進む中、本市におきましては、これまで子どもや子育てに関する施策を重点的、総合的に推進してまいりましたが、現実的には、厳しい少子化の影響から児童生徒数の減少が進んでいます。

このような状況の中、子どもたちにとってよりよい教育環境を整備していくことが第一であり、子どもたちが多くの人と関わり合い、学び合うことができるようにするためには学校再編により一定の学校規模を確保していくことが必要と考えています。

そこで篠岡地区においては、篠岡地区の将来を展望した学校のあり方について、幅広い見地から検討するため、保護者や教員、地域の代表者などからなる「篠岡地区の学校を考える会」を設置し、学校再編について協議してまいりました。

加えて、「保護者等との意見交換会」や「住民説明会」などを通して、篠岡地区においては、子どもたちのより良い教育環境を目指していく上で、学校再編は避けては通れない状況にあることについては、丁寧に説明を行ってまいりました。

他方、学校は地域交流や防災など多様な機能を持っており、まちづくりを語るうえで欠かすことのできないものであると認識していますが、一義的には教育施設であり、子どもたちの学びを保障していくため、教育的な課題を置き去りにはできないと考えています。

このため、学校再編を行い、さらに子どもたちを核として学校と地域とのつながりが深められるような学校運営や、世代を超えた地域の取組を支援していくことで、地域への活力に変えていきたいと考えております。

本計画の趣旨を一人でも多くの方にご理解いただくことで、地域の皆さまとともに魅力ある新しい学校づくりを進めてまいります。

令和●年●月

小牧市教育委員会

目次

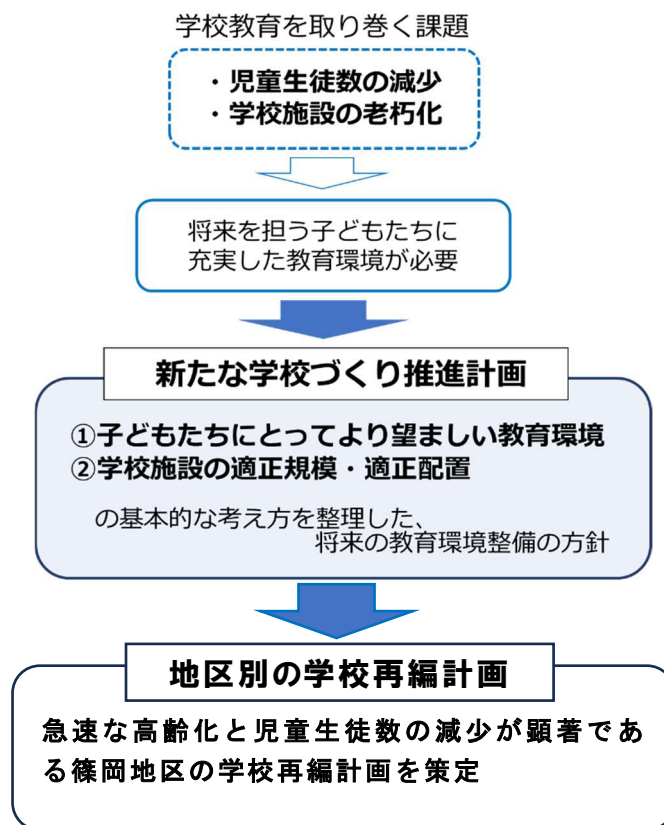
第1章	計画策定の背景	1
第2章	「小牧市新たな学校づくり推進計画（令和6年9月策定）」 の概要	2
	（1）小牧市が目指す教育の実現に向けて	2
	（2）学校の適正規模	4
	（3）学校の適正配置	5
	（4）小中一貫教育	6
	（5）市全域の学校再編のイメージ	7
	（6）早急に取り組む必要がある学校	9
第3章	篠岡地区の学校の現状と課題	10
1	現状	10
	（1）学校の位置	10
	（2）学校の沿革	12
2	課題	13
	（1）児童生徒数の減少	13
	（2）学校施設の老朽化	24
第4章	篠岡地区学校再編計画	25
1	『しのおか学園』構想	25
2	『しのおか学園』が目指す児童生徒像	26
3	学校規模適正化の具体的な方策	27
	（1）第1期再編	27
	（2）第2期再編	36
4	第1期再編の主な取組	38
	（1）学校再編準備調査研究委員会の設置	38
	（2）学校間交流について	38
	（3）校舎の改修・修繕	38
	（4）通学路の設定	38
	（5）スケジュール	39
■	参考資料	40
	（1）策定の経過	41
	（2）検討組織	43
	（3）小学生アンケート調査	45
	（4）中学生アンケート調査	51
	（5）児童生徒の保護者アンケート調査	58
	（6）未就学児の保護者アンケート調査	66
	（7）城山三丁目及び城山四丁目の通学区域に関するアンケート調査	74
	（8）新たな学校名に関するアンケート調査	76

第1章 計画策定の背景

今後ますます減少すると見込まれる児童生徒数と学校施設の老朽化の課題を抱える中、小牧市教育委員会は、子どもたちに豊かな学びを保障していくため、令和6年9月に、子どもたちにとってより望ましい教育環境と本市における学校施設の適正規模・適正配置の基本的な考え方を整理した「小牧市新たな学校づくり推進計画」を策定しました。

「小牧市新たな学校づくり推進計画」においては、学校再編は、市全体の課題であるとした上で、地域によって児童生徒数や学校施設の老朽化の状況が異なっていることから、地域ごとに課題を整理し、特に、巾下地区、北里地区、篠岡地区の3地区の課題が大きく、できるだけ早急に学校再編について検討していく必要がある地域と位置付けました。

その中でも、篠岡地区については、急速な高齢化と児童生徒数の減少が顕著であり、現在においても1学年1学級の学校があり、今後さらに1学級の学年が増えていく状況にあるため、篠岡地区から学校再編の検討に着手することとし、保護者や地域の皆様のご意見をお聴きしながら「篠岡地区学校再編計画」の策定をすることとしたものです。



第2章 「小牧市新たな学校づくり推進計画（令和6年9月策定）」の概要

本計画は、令和6年9月に策定した「小牧市新たな学校づくり推進計画」において整理を行った将来的に本市が目指す教育の方針や学校施設の適正規模・適正配置の基本的な考え方を基に策定を進めたものです。

「小牧市新たな学校づくり推進計画」の概要は、次のとおりです。

（1）小牧市が目指す教育の実現に向けて

①多様性の中での学びの推進

学校は、社会の縮図と言われています。多様な他者、多様な価値観の中で、思考力・判断力・表現力や、社会性・人間関係を形成する力を育む場でもあります。

しかしながら、本市では児童生徒数が減少しており、子どもたちが多様性に触れる機会が損なわれかねない状況にあります。

子どもたちに豊かな学びを保障するためには、日ごろの学校生活や「学び合う学び」の授業をはじめ、ICT教育、特別支援教育、外国人児童生徒教育など、全ての教育活動において、子どもたちが様々な見方や考え方、価値観、文化等の多様性に触れる機会が重要であり、一定の集団規模が確保されていることが望ましいです。

②探究的な学びの推進

従来の学校教育で重視されていた「同じ内容を正確に早くこなす力」よりも、「正解のない問題に取り組み、よりよい解決策や新たな価値を見つける力」が重視されるようになりました。各教科の学習で培った見方・考え方や学びに向かう力を、日常生活において活かすものにする必要があります。

そのためには、子ども自身が自ら課題を見だし、課題の解決をするとともに、振り返って次の課題につなげる「課題解決力」、自分の思考や行動を把握・分析して方向性を最適化するとともに、多様な他者と協働する「調整力」、新たな考えや仕組み、価値を生み出す「創造力」を育成する必要があります。そしてそれらの力は、探究的な活動を充実させ、学びの質を向上させることで育まれるものであります。

子どもたちが社会に出てからも目の前の課題を解決できる確かな力を身につけられるよう、「学び合う学び」を基盤として、探究的な学びの充実に取り組みます。

③小中９年間のつながりのある学びの推進

小学校と中学校が、同じ教育目標のもと、目指す子ども像を共有し、義務教育９年間を一貫した系統的な教育課程を編成し、それに基づき教育活動を行う小中一貫教育が、平成 28（2016）年に改正学校教育法が施行されたことで制度として確立し、全国的に導入が進められました。

小中一貫教育が取り組まれてきた理由には、義務教育９年間の系統性・連続性を意識した教育活動を行うことができることや、小学校から中学校への進学に際し、子どもたちが新しい環境での学習や生活に不適応を起こす、いわゆる「中１ギャップ」と呼ばれる現象の効果的な解消等が挙げられます。

そのため、小中一貫教育のメリット・デメリットを考慮した上で、本市では、これからの学校教育の在り方として、義務教育９年間を連続した教育課程とした小中一貫教育の導入を検討していきます。

義務教育９年間の学びと育ちをさらにつないでいくため、９年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を実現する学校体制とし、授業を通して、子どもたちが学ぶ楽しさや自分自身の成長をより一層感じられ、学びに向かう力や学力の向上につなげます。

（２）学校の適正規模

法令上、学校規模の基準は学級数により規定されており、小学校・中学校ともに、「12 学級以上 18 学級以下」が標準とされています。また、文部科学省より平成 27(2015) 年に少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて示されました「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（以下、「手引」という。）においては、従来から 25 学級以上の学校が大規模校と位置付けられています。

そうした中、「小牧市新たな学校づくり推進計画」においては、学校規模によるメリットやデメリットを考慮した上で、子どもたちが多様な考え方に触れ、社会性を養いながら成長をしていくために、本市における学校の適正規模の基本的な考え方は次のとおりとしました。

小学校	中学校
1 校あたり 12 学級から 24 学級 (1 学年あたり 2 学級から 4 学級)	1 校あたり 12 学級から 24 学級 (1 学年あたり 4 学級から 8 学級)

なお、適正規模の条件を満たさない学校については、小規模校・大規模校の課題の解消に努めますが、地域の事情に応じて、弾力的に運用することとします。

◎学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）（抄）

第 41 条 小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

第 79 条 第 41 条から第 49 条まで、第 50 条第 2 項、第 54 条から第 68 条までの規定は、中学校に準用する。

また、ここでいう学校の適正規模は、学級数のことであり学級の人数のことではありません。

本市としましては、少人数学級を否定する考えはありませんが、少人数かつ単学級の学年が多数を占めるような小規模校につきましては、学校内で多様な他者との触れ合いが限定的となることや、クラス替えができないため人間関係が固定化されるなど様々な課題が指摘されていることから、それら様々なデメリットを解消するために、学校規模を適正規模にできるだけ近づけていく必要があると考えているものであります。

（３）学校の適正配置

「小牧市新たな学校づくり推進計画」においては、本市における学校の適正配置の基本的な考え方は、法令上の規定及び文部科学省の手引に示されている基準と同様に、次のとおりとしました。

	小学校	中学校
通学距離 の許容範囲	おおむね 4 km 以内 を目安	おおむね 6 km 以内 を目安
通学時間 の許容範囲	おおむね 1 時間以内 を目安	おおむね 1 時間以内 を目安

ただし、徒歩での通学距離が著しく遠距離となる子どもたちについては、通学距離や学年等を考慮した上で、公共交通機関の活用やスクールバスの導入等の検討が必要です。

また、子どもたちが安全に通学できるよう、安全な通学路の設定や地域との連携による見守り活動等、安全対策が必要です。

◎義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令(昭和 33 年政令第 189 号) (抄)

(適正な学校規模の条件)

第 4 条 (略)

一 (略)

二 通学距離が、小学校にあつてはおおむね 4 キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあつてはおおむね 6 キロメートル以内であること。(後略)

◎公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引 (抄)

2 章 適正規模・適正配置について

(2) 学校の適正配置(通学条件)

適切な交通手段が確保でき、かつ遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つということを前提として、通学時間について、「おおむね 1 時間以内」を一応の目安とした上で、各市町村において、地域の実情や児童生徒の実態に応じて 1 時間以上や 1 時間以内に設定することの適否も含めた判断を行うことが適当であると考えられます。

（４）小中一貫教育

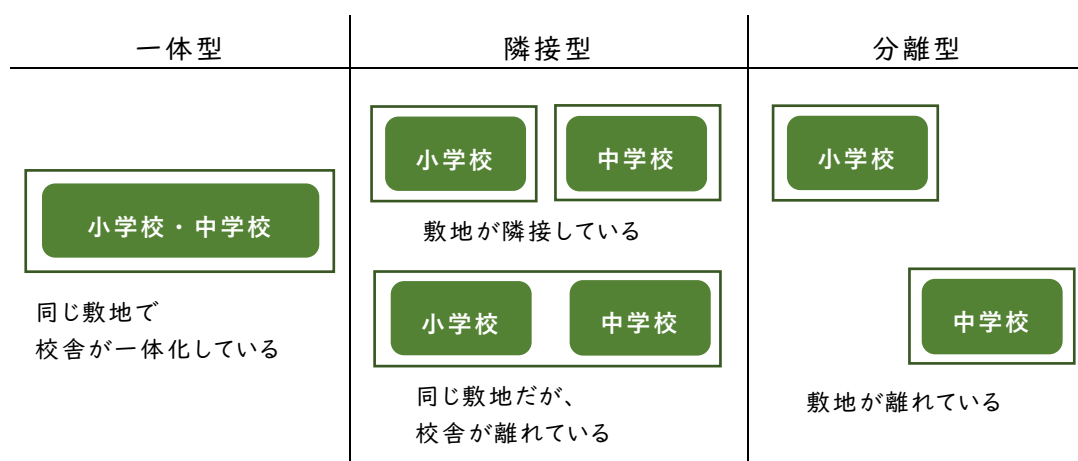
義務教育９年間の学びと育ちをさらに繋いでいくため、小中一貫教育の導入を検討します。

学校の再編に伴い建替えを行う際には、可能な限り、小中一貫型小学校・中学校（以下、「小中一貫校」という。）の設立を視野に検討します。

なお、小中一貫校には、小学校と中学校が同じ建物を共有している「施設一体型」、小学校と中学校の敷地が隣接している「施設隣接型」、従来の小学校・中学校と同じように、敷地が離れている「施設分離型」の３種類があります。

今後、学校の立地状況等に応じて、小中一貫校の設立について検討をしていきますが、小中一貫教育の導入自体が目的ではなく、義務教育９年間を連続した教育課程として捉え、子どもたち、学校、地域の実情等を踏まえて、具体的な取組内容の質を高めていくことを目的として、小中一貫校の設立を検討します。

図 小中一貫校の種類



（５）市全域の学校再編のイメージ

「小牧市新たな学校づくり推進計画」においては、学校の適正規模を確保する観点から、地区ごとに課題を整理した上で再編のイメージを次のとおりとしました。

この再編イメージは、将来の児童生徒数の推計及び適正規模・適正配置の基準に基づいた必要学校数のイメージであり、具体的な再編案は、地域の実情に合わせて地区別の再編計画を策定していく中で検討していくこととしました。

図 地区別再編のイメージ

令和 5 年度 令和 15 年度推計				再編イメージ		
小牧地区	小牧小学校	(24 学級) → (24 学級)		小学校 2校		
	小牧原小学校	(21 学級) → (18 学級)		中学校 1校		
	小牧中学校	(21 学級) → (18 学級)				
小牧南地区	小牧南小学校	(26 学級) → (23 学級)		小学校 2校		
	米野小学校	(24 学級) → (24 学級)		中学校 1校		
	応時中学校	(20 学級) → (17 学級)				
巾下地区	村中小学校	(12 学級) → (12 学級)		小学校 1校		
	三ツ淵小学校	(11 学級) → (6 学級)		隣接地区の中学校への統合		
	小牧西中学校	(8 学級) → (6 学級)				
味噌地区	味噌小学校	(28 学級) → (24 学級)		小学校 2校		
	一色小学校	(18 学級) → (15 学級)				
	本庄小学校	(18 学級) → (12 学級)				
	味噌中学校 岩崎中学校	(19 学級) → (15 学級) (13 学級) → (12 学級)		中学校 2校		
篠岡地区	篠岡小学校	(11 学級) → (6 学級)		児童生徒数の 状況により 段階的に 再編を行う		小学校 1校
	桃ヶ丘小学校	(13 学級) → (6 学級)				
	陶小学校	(6 学級) → (6 学級)				
	光ヶ丘小学校	(12 学級) → (6 学級)				
	大城小学校	(10 学級) → (6 学級)				
	篠岡中学校	(6 学級) → (3 学級)				中学校 1校
	桃陵中学校	(13 学級) → (6 学級)				
	光ヶ丘中学校	(8 学級) → (6 学級)				
北里地区	北里小学校	(15 学級) → (12 学級)		小学校 1校		
	小木小学校	(12 学級) → (7 学級)				
	北里中学校	(13 学級) → (10 学級)		中学校 1校		

※ 児童生徒数の推計をもとに考える再編イメージです。令和 15 年度までに再編を行うことが決定しているものではありません。今後、地域の実情に合わせて、具体的な再編案を検討します。

【下地区】
 小学校: 2校 ⇒ 1校
 中学校: 1校 ⇒ 0校
 (接地区の中学校への統合)

【小牧地区】
 小学校: 2校 ⇒ 2校
 中学校: 1校 ⇒ 1校

【味岡地区】
 小学校: 3校 ⇒ 2校
 中学校: 2校 ⇒ 2校

【篠岡地区】
 小学校: 5校 ⇒
 中学校: 3校 ⇒
 (児童生徒数の状況により ⇒ 1校
 段階的に ⇒ 1校
 再編を行う)

【小牧南地区】
 小学校: 2校 ⇒ 2校
 中学校: 1校 ⇒ 1校

【北里地区】
 小学校: 2校 ⇒ 1校
 中学校: 1校 ⇒ 1校

（６）早急に取り組む必要がある学校

「小牧市新たな学校づくり推進計画」においては、市内６地区のうち巾下地区、篠岡地区、北里地区は、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化の課題が大きく、子どもたちのよりよい教育環境を整備していく上で、その課題解消のため、できるだけ早急に学校再編について検討していく必要があると位置付けられ、その中でも特に児童生徒数の減少が著しい篠岡地区において令和７年度から学校再編に向けた協議を開始しました。

第3章 篠岡地区の学校の現状と課題

1 現状

(1) 学校の位置

図 小學校区と小學校の分布



< 小学校 >

学校名	位 置	建築年度	敷地面積	延床面積
篠岡小学校	篠岡二丁目 25 番地	昭和 33	28,508 m ²	5,907 m ²
桃ヶ丘小学校	桃ヶ丘二丁目 3 番地	昭和 50	27,160 m ²	6,423 m ²
陶小学校	上末 3450 番地 282	昭和 59	19,651 m ²	4,143 m ²
光ヶ丘小学校	光ヶ丘三丁目 50 番地	昭和 62	24,150 m ²	7,092 m ²
大城小学校	城山三丁目 8 番地	平成元	27,415 m ²	7,349 m ²

図 中学校区と中学校の分布



< 中学校 >

学校名	位 置	建築年度	敷地面積	延床面積
篠岡中学校	篠岡二丁目 28 番地	昭和 40	33,757 m ²	7,401 m ²
桃陵中学校	桃ヶ丘二丁目 1 番地	昭和 56	34,777 m ²	8,724 m ²
光ヶ丘中学校	光ヶ丘三丁目 52 番地	平成元	31,794 m ²	8,289 m ²

（２）学校の沿革

篠岡地区内の学校としては、篠岡小学校が明治 42 年に、篠岡中学校が昭和 22 年に開校し、その後、桃花台ニュータウンの開発に伴う児童生徒数の急増に対応するため、下記のとおり分離開校を繰り返してきました。

＜小学校＞

学校名	沿革
篠岡小学校	明治42年：開校（篠岡尋常高等小学校） 昭和30年：市制施行により篠岡小学校に改称 昭和51年：一部校区を分離し桃ヶ丘小学校が開校 昭和63年：一部校区を分離し光ヶ丘小学校が開校 平成２年：一部校区を分離し大城小学校が開校
桃ヶ丘小学校	昭和51年：篠岡小学校より分離開校 昭和60年：一部校区を分離し陶小学校が開校 平成２年：一部校区を分離し大城小学校が開校
陶小学校	昭和60年：桃ヶ丘小学校より分離開校 （上末新田地区が篠岡小学校区より校区変更）
光ヶ丘小学校	昭和63年：篠岡小学校より分離開校
大城小学校	平成２年：篠岡小学校、桃ヶ丘小学校より分離開校

＜中学校＞

学校名	沿革
篠岡中学校	昭和22年：開校（篠岡村立篠岡中学校） 昭和30年：市制施行により篠岡中学校に改称 昭和57年：一部校区を分離し桃陵中学校が開校 平成２年：一部校区を分離し光ヶ丘中学校が開校
桃陵中学校	昭和57年：篠岡中学校より分離開校
光ヶ丘中学校	平成２年：篠岡中学校より分離開校

2 課題

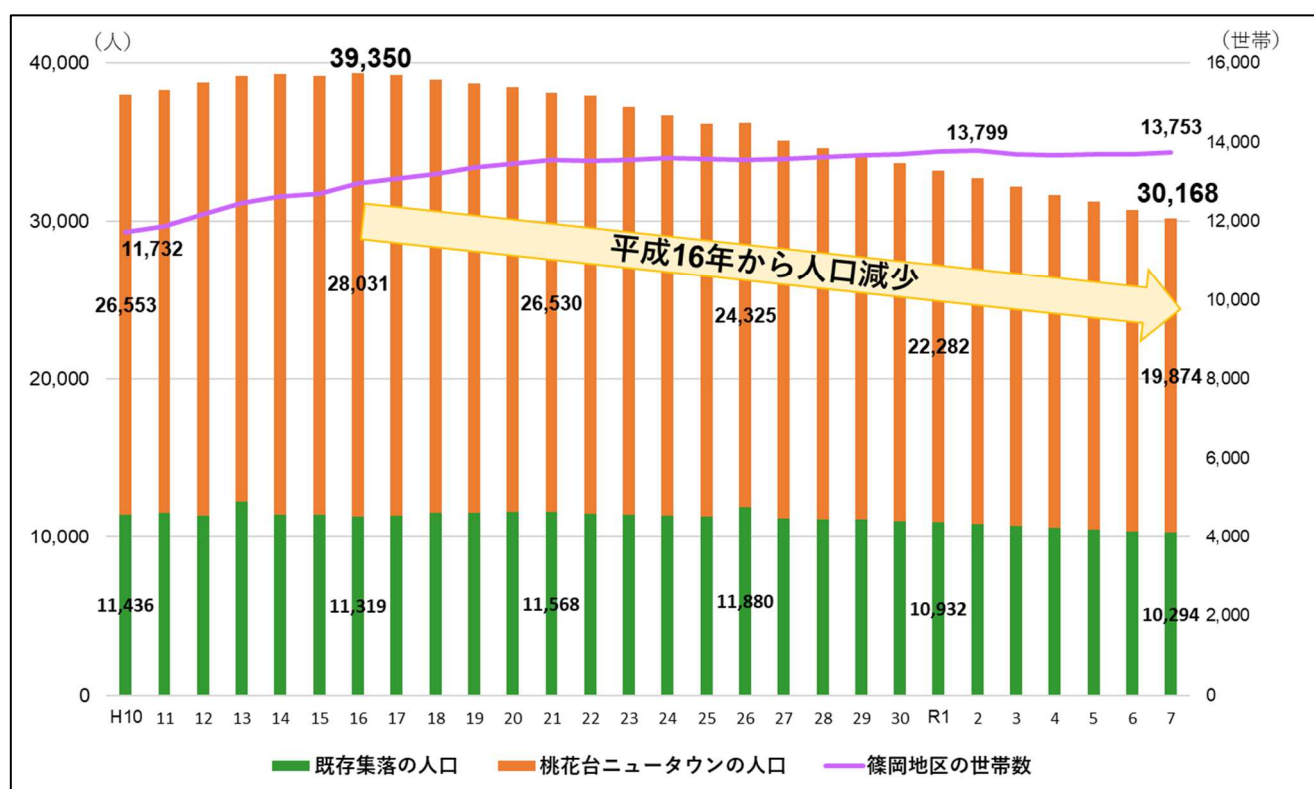
(1) 児童生徒数の減少

①人口・世帯数の推移

住民基本台帳に基づく篠岡地区の人口は、平成16年の39,350人をピークにして、令和7年には30,168人にまで減少しています。このうち、桃花台ニュータウン以外の既存集落の人口は微減で推移していますが、桃花台ニュータウンは人口減少の傾向が強くなっています。

一方、世帯数は、核家族化の進行により概ね横ばいで推移しており、令和7年は13,753世帯となっています。

図 篠岡地区の人口・世帯数の推移



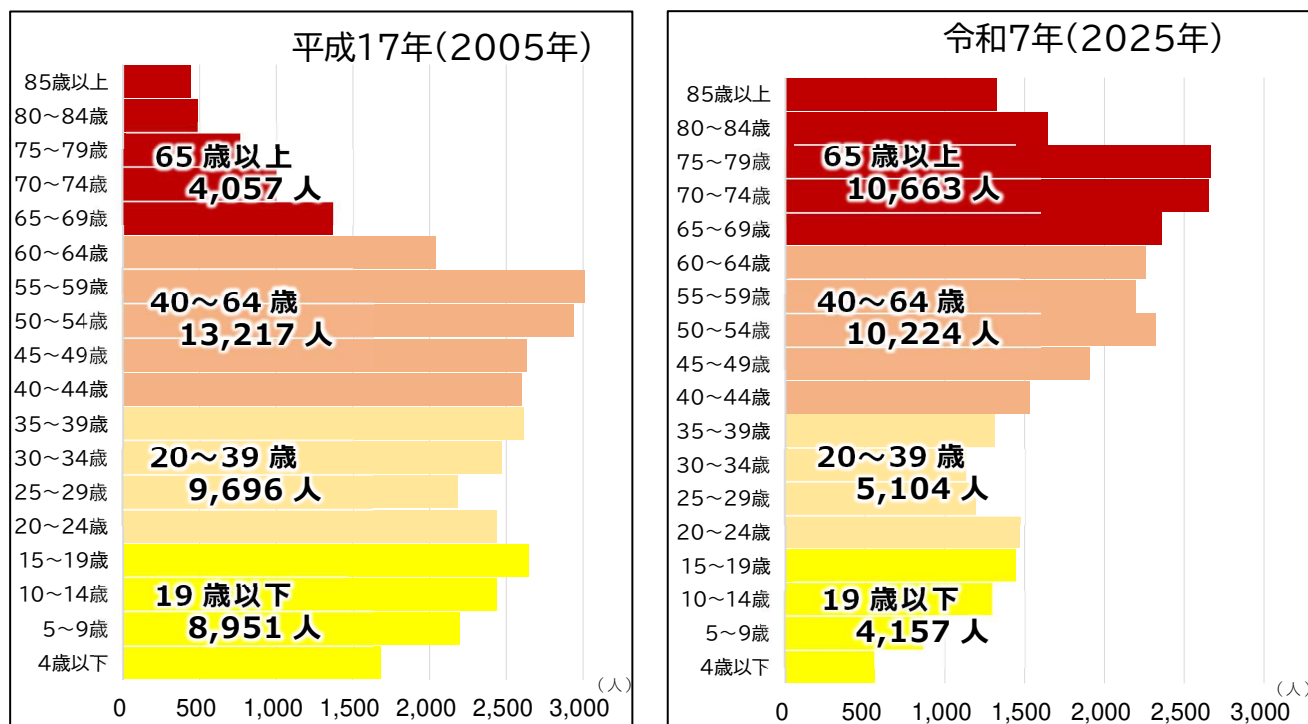
※ 「住民基本台帳（各年10月1日現在）」に基づく

②年齢別人口

国勢調査及び住民基本台帳に基づく篠岡地区の年齢別人口は、平成 17 年と令和 7 年を比較すると、19 歳以下の人口が半分以上まで減少しています。

一方で、65 歳以上の人口は約 2.5 倍まで増加しており、年齢構成が大きく変化しています。

図 篠岡地区の人口ピラミッド

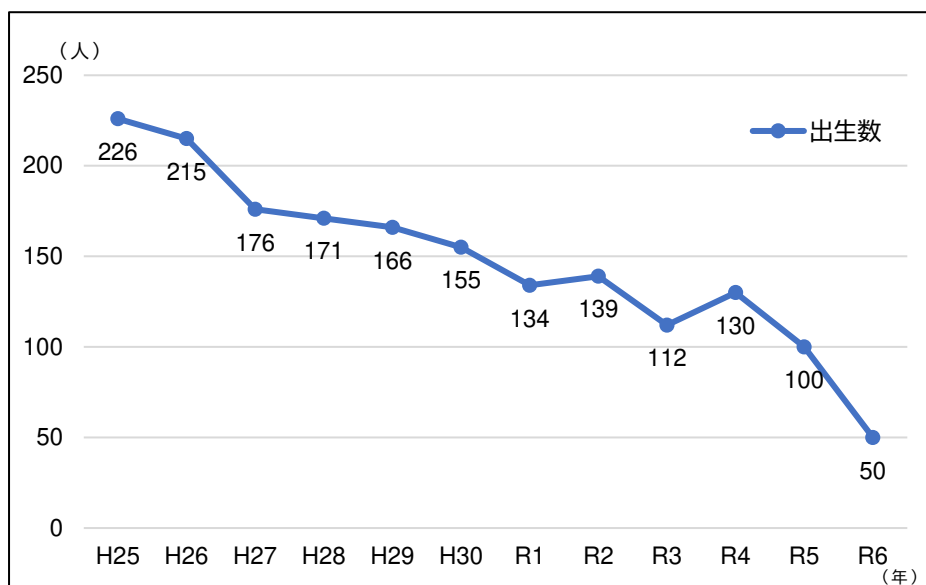


※ 国勢調査（平成 17 年 10 月 1 日現在）及び住民基本台帳（令和 7 年 9 月 17 日現在）に基づく

③出生数及び自然増減数・社会増減数の推移

住民基本台帳に基づく篠岡地区の出生数は、年々減少が続いており、令和6年には50人となり、平成25年の約22%まで減少しました。

図 篠岡地区の出生数の推移

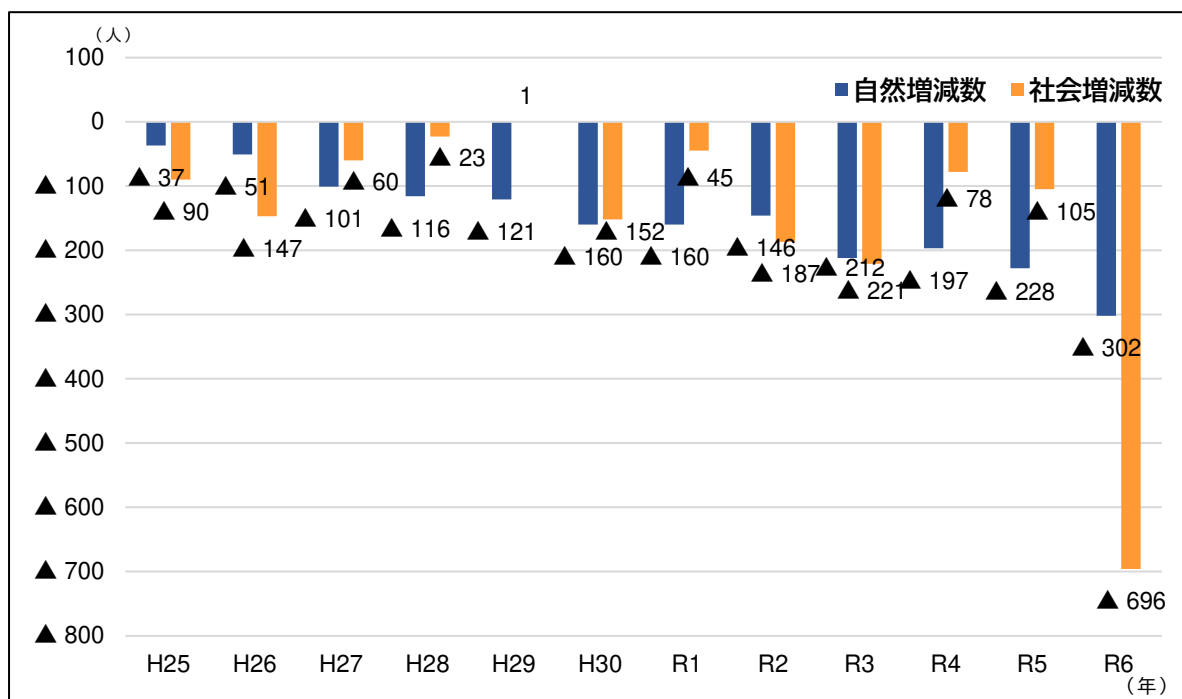


※ 住民基本台帳に基づく（平成25年から令和5年までは令和6年12月25日時点、令和6年は令和7年9月30日時点における住所で抽出）

住民基本台帳に基づく篠岡地区の人口における自然増減数（出生数と死亡数の差）と社会増減数（転入数と転出数の差）は、平成 25 年から令和 6 年までの間、ほぼ全ての年においてマイナス（死亡・転出超過）で推移しています。

特に、令和 6 年は自然増減が 302 人減少、社会増減が 696 人減少しており、篠岡地区の人口減少が著しく進んでいます。

図 篠岡地区の自然増減数・社会増減数の推移



※ 住民基本台帳に基づく（平成 25 年から令和 5 年までは令和 6 年 12 月 25 日時点、令和 6 年は令和 7 年 9 月 30 日時点における住所で抽出）

(参考) 篠岡地区の空家等数

令和6年度に実施した「小牧市空家等実態調査」に基づく篠岡地区の空家等数は、200棟と市内で最多となっていますが、空き家率は他の地区に比べて低い状況にあります。

桃花台ニュータウンには、多くの団塊の世代の方が居住しており、将来的には更に空家等が増加することが見込まれますが、13ページのとおり、核家族化の進行により世帯数は横ばいであり、人口減少に比して、空家等が増加していない状況にあります。

表 地区別の空家等数

地区	人口	世帯数	建物数	空家等数	空家等率
篠岡	30,563 人	13,678 世帯	8,642 棟	200 棟 (166 棟)	2.3 % (1.9 %)
小牧	28,320 人	14,253 世帯	5,887 棟	142 棟 (125 棟)	2.4 % (2.2 %)
小牧南	21,493 人	10,308 世帯	4,682 棟	123 棟 (114 棟)	2.6 % (2.5 %)
巾下	15,809 人	7,807 世帯	4,254 棟	100 棟 (87 棟)	2.4 % (2.1 %)
味岡	33,567 人	15,510 世帯	8,933 棟	180 棟 (164 棟)	2.0 % (1.9 %)
北里	19,273 人	9,164 世帯	5,736 棟	154 棟 (124 棟)	2.7 % (2.2 %)

※ 人口・世帯数は、住民基本台帳（令和7年1月1日現在）に基づく

※ 建物数は、課税台帳上の用途が「住宅」「寄宿舍」「共同住宅」「アパート」「寮」「社宅」「貸住宅」「貸店舗住宅」のいずれかに該当するものを抽出。なお、所在地が完全一致する物件は、あわせて1棟と数える。

※ 空家等とは、建築物又はこれに附属する工作物であって居住その他の使用がなされていないことが常態であるもの及びその敷地（立木その他の土地に定着する物を含む。）をいう。

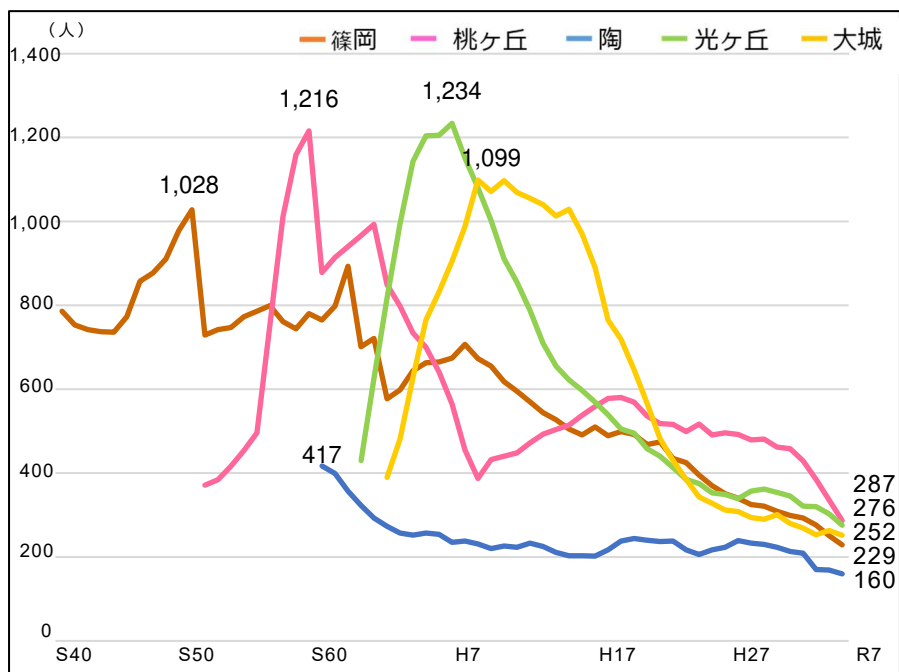
ただし、国又は地方公共団体が所有し、又は管理するものを除く。

※ 空家等数及び空き家等数率は、令和7年1月1日現在。ただし、括弧内は、令和3年1月1日現在。

④児童生徒数の推移

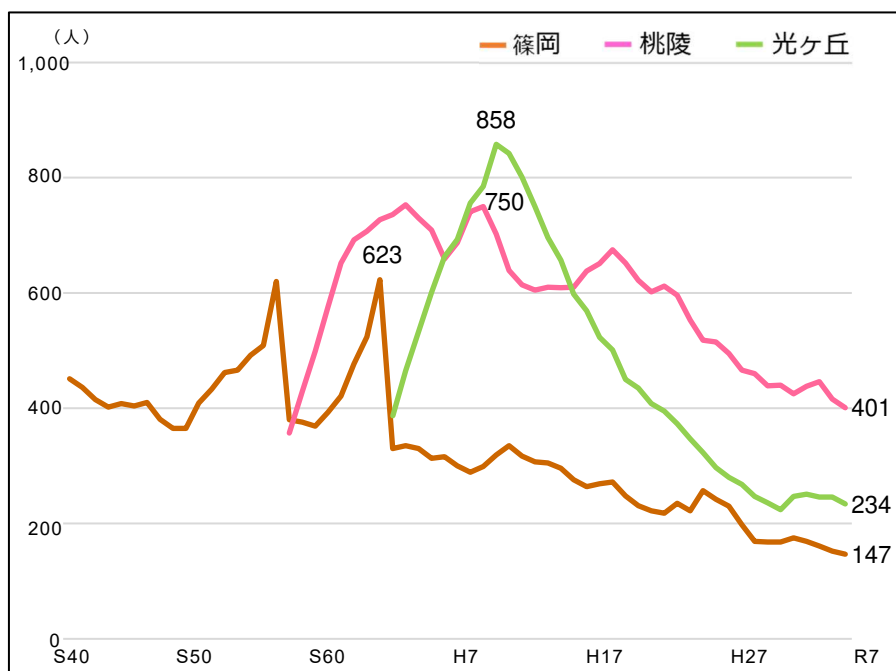
学校基本調査に基づく篠岡地区の児童生徒数は、各学校ともピーク時より大幅に減少し、近年も年々減少しています。

図 篠岡地区の児童数の推移



※ 学校基本調査（各年5月1日現在）に基づく

図 篠岡地区の生徒数の推移



※ 学校基本調査（各年5月1日現在）に基づく

⑤児童生徒数の将来推計

本市におきましては、これまで子どもや子育てに関する施策を重点的、総合的に推進してきましたが、将来的に、人口減少、児童生徒数の減少は、さらに進むと推計しています。

「小牧市新たな学校づくり推進計画」を策定する中で令和５年度に小牧市教育委員会が行った推計に、児童生徒数及び未就学児童数の最新の数字を反映し、また、令和７年度以降に生まれる０歳児の人数について、３つの条件で推計し直しました。

現状では、下位推計が最も実態に近くなる可能性も危惧されますが、本市の子育て施策の効果等、様々な要因で年少人口が増加することを期待し、本計画の中では、中位推計を採用することとします。

１）上位推計

令和７年度以降に生まれる０歳児の人数について、「小牧市まちづくり推進計画 第２次基本計画」の人口推計を基に算出したもの

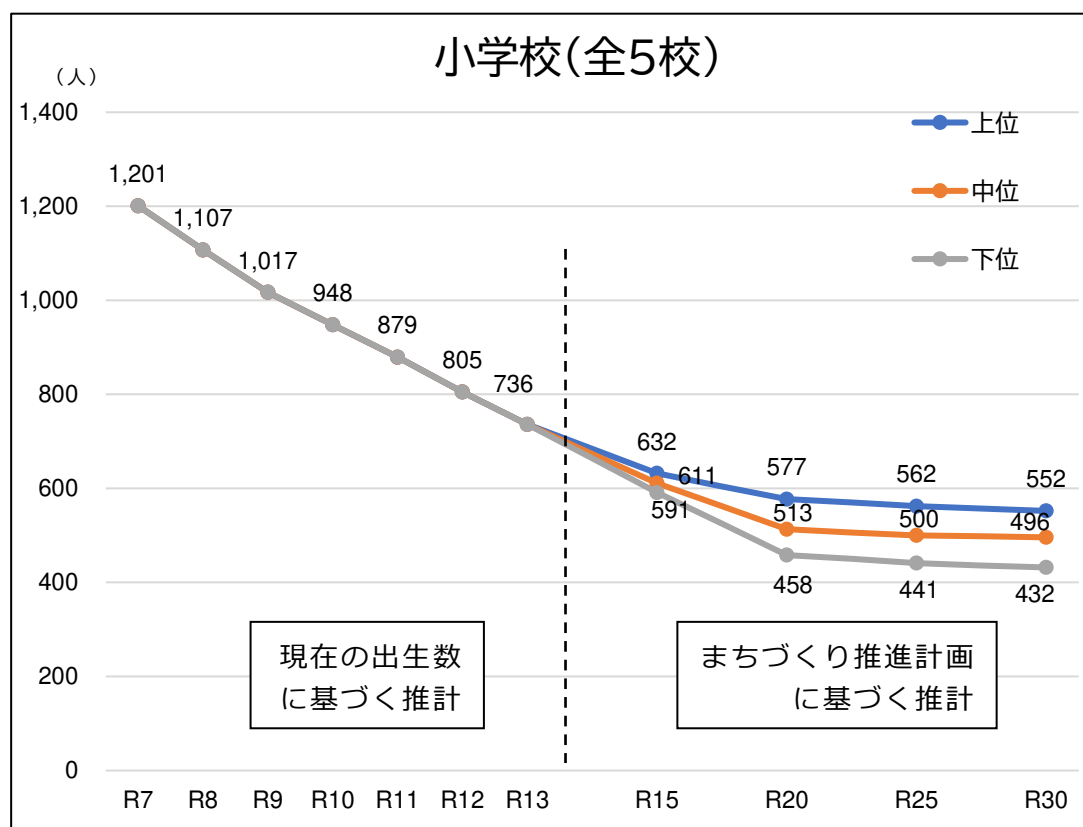
２）下位推計

より直近の実態に近づけるために、令和７年度における、「小牧市まちづくり推進計画 第２次基本計画」の人口推計で算出した０歳児の数と、住民基本台帳の０歳児の人数の差（約２２％）を反映して、令和７年度以降に生まれる０歳児の人数を算出したもの

３）中位推計

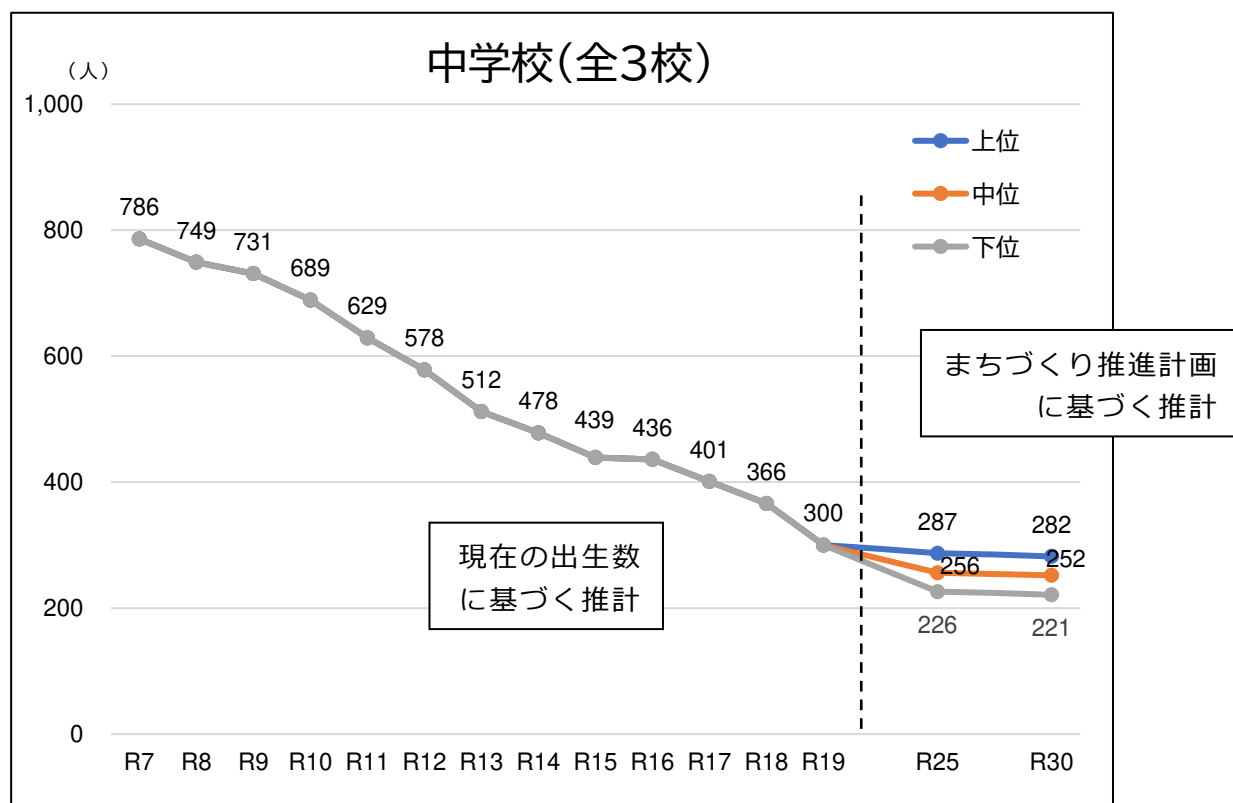
令和７年度以降に生まれる０歳児の人数について、上位推計と下位推計の間をとり、「小牧市まちづくり推進計画 第２次基本計画」の人口推計で算出した人数（上位推計）から約１１％の減少を見込んで算出したもの

図 篠岡地区の児童数の推計



	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R15	R20	R25	R30
上位								632	577	562	552
中位	1,201	1,107	1,017	948	879	805	736	611	513	500	496
下位								591	458	441	432

図 篠岡地区の生徒数の推計



	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R25	R30
上位														287	282
中位	786	749	731	689	629	578	512	478	439	436	401	366	300	256	252
下位														226	221

推計では、令和9年度には、篠岡地区の全ての小学校において本市の適正規模を下回り、令和15年度には、全ての小学校と篠岡中学校において全学年が1学級になる見込みです。

表 篠岡地区の小中学校における学級数の推計（中位推計）

< 小学校 >

R7～R9年度

学校名		R7年度							R8年度							R9年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	人数	29	37	33	42	44	44	229	34	29	37	33	42	44	219	21	34	29	37	33	42	196
	学級数	1	1	1	2	2	2	9	1	1	1	1	2	2	8	1	1	1	1	1	2	7
桃ヶ丘小	人数	22	24	46	54	71	67	284	23	22	24	46	54	71	240	31	23	22	24	46	54	200
	学級数	1	1	2	2	2	2	10	1	1	1	2	2	2	9	1	1	1	1	2	2	8
陶小	人数	25	24	24	29	30	28	160	25	25	24	24	29	30	157	28	25	25	24	24	29	155
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	人数	38	51	42	40	52	53	276	40	38	51	42	40	52	263	29	40	38	51	42	40	240
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	1	2	2	2	2	2	11
大城小	人数	32	47	38	47	37	51	252	27	32	47	38	47	37	228	35	27	32	47	38	47	226
	学級数	1	2	1	2	1	2	9	1	1	2	1	2	1	8	1	1	1	2	1	2	8

R10～R12年度

学校名		R10年度							R11年度							R12年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	人数	34	21	34	29	37	33	188	17	34	21	34	29	37	172	24	17	34	21	34	29	159
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
桃ヶ丘小	人数	30	31	23	22	24	46	176	28	30	31	23	22	24	158	14	28	30	31	23	22	148
	学級数	1	1	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
陶小	人数	18	28	25	25	24	24	144	17	18	28	25	25	24	137	21	17	18	28	25	25	134
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	人数	33	29	40	38	51	42	233	29	33	29	40	38	51	220	20	29	33	29	40	38	189
	学級数	1	1	2	2	2	2	10	1	1	1	2	2	2	9	1	1	1	1	2	2	8
大城小	人数	28	35	27	32	47	38	207	23	28	35	27	32	47	192	30	23	28	35	27	32	175
	学級数	1	1	1	1	2	1	7	1	1	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	1	6

R13～R20年度

学校名		R13年度							R15年度							R20年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	人数	22	24	17	34	21	34	152	24	24	22	24	17	34	145	24	24	24	25	25	24	146
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
桃ヶ丘小	人数	16	14	28	30	31	23	142	18	17	16	14	28	30	123	18	18	18	18	18	18	108
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
陶小	人数	13	21	17	18	28	25	122	14	14	13	21	17	18	97	14	14	14	15	15	14	86
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	人数	11	20	29	33	29	40	162	12	12	11	20	29	33	117	12	12	12	12	12	12	72
	学級数	1	1	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
大城小	人数	15	30	23	28	35	27	158	17	16	15	30	23	28	129	16	17	17	17	17	17	101
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6

R25～R30年度

学校名		R25年度							R30年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	人数	24	24	24	24	24	24	144	23	23	24	24	24	24	142
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
桃ヶ丘小	人数	17	17	17	17	18	18	104	17	17	17	17	17	17	102
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
陶小	人数	14	14	14	14	14	14	84	14	14	14	14	14	14	84
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	人数	12	12	12	12	12	12	72	12	12	12	12	12	12	72
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
大城小	人数	16	16	16	16	16	16	96	16	16	16	16	16	16	96
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6

※学級数は特別支援学級を除く

※学級数は全学年35人学級で算出

< 中学校 >

R7～R11年度

学校名		R7年度				R8年度				R9年度				R10年度				R11年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
篠岡中	人数	50	48	49	147	44	50	48	142	44	44	50	138	42	44	44	130	33	42	44	119
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	1	2	2	5
桃陵中	人数	123	119	163	405	117	123	119	359	117	117	123	357	103	117	117	337	86	103	117	306
	学級数	4	3	5	12	4	4	3	11	4	4	4	12	3	4	4	11	3	3	4	10
光ヶ丘中	人数	81	85	68	234	82	81	85	248	73	82	81	236	67	73	82	222	64	67	73	204
	学級数	3	3	2	8	3	3	3	9	3	3	3	9	2	3	3	8	2	2	3	7

R12～R16年度

学校名		R12年度				R13年度				R14年度				R15年度				R16年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
篠岡中	人数	37	33	42	112	29	37	33	99	34	29	37	100	21	34	29	84	34	21	34	89
	学級数	2	1	2	5	1	2	1	4	1	1	2	4	1	1	1	3	1	1	1	3
桃陵中	人数	68	86	103	257	58	68	86	212	55	58	68	181	68	55	58	181	58	68	55	181
	学級数	2	3	3	8	2	2	3	7	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6
光ヶ丘中	人数	78	64	67	209	59	78	64	201	60	59	78	197	55	60	59	174	51	55	60	166
	学級数	3	2	2	7	2	3	2	7	2	2	3	7	2	2	2	6	2	2	2	6

R17～R30年度

学校名		R17年度				R18年度				R19年度				R25年度				R30年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
篠岡中	人数	17	34	21	72	24	17	34	75	22	24	17	63	24	24	25	73	24	24	24	72
	学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
桃陵中	人数	55	58	68	181	45	55	58	158	36	45	55	136	40	40	40	120	39	39	39	117
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6
光ヶ丘中	人数	42	51	55	148	40	42	51	133	19	40	42	101	21	21	21	63	21	21	21	63
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	1	2	2	5	1	1	1	3	1	1	1	3

※学級数は特別支援学級を除く

※学級数は全学年 35 人学級で算出

ただし、令和 7 年度の中学校 2・3 年生及び令和 8 年度の中学校 3 年生は 40 人学級で算出

（２）学校施設の老朽化

篠岡地区の学校施設については、篠岡小学校と篠岡中学校の老朽化が著しい一方、その他の学校については、老朽化が進んではいるものの、市内の全小中学校の中では比較的、築年数が新しく、残りの耐用年数が長い状況です。

＜小学校＞

（令和７年５月１日現在）

学校名	建築年度	築年数	地区
篠岡小学校	昭和 33	67	篠岡地区
三ツ渚小学校	昭和 36	64	巾下地区
北里小学校	昭和 37	63	北里地区
村中小学校	昭和 39	61	巾下地区
味岡小学校	昭和 41	59	味岡地区
米野小学校	昭和 44	56	小牧南地区
一色小学校	昭和 44	56	味岡地区
小木小学校	昭和 49	51	北里地区
小牧原小学校	昭和 50	50	小牧地区
本庄小学校	昭和 50	50	味岡地区
桃ヶ丘小学校	昭和 50	50	篠岡地区
陶小学校	昭和 59	41	篠岡地区
光ヶ丘小学校	昭和 62	38	篠岡地区
大城小学校	平成元	36	篠岡地区
小牧小学校	平成 23	14	小牧地区
小牧南小学校	令和 3	4	小牧南地区

＜中学校＞

（令和７年５月１日現在）

学校名	建築年度	築年数	地区
北里中学校	昭和 38	62	北里地区
篠岡中学校	昭和 40	60	篠岡地区
応時中学校	昭和 48	52	小牧南地区
岩崎中学校	昭和 52	48	味岡地区
桃陵中学校	昭和 56	44	篠岡地区
小牧西中学校	昭和 57	43	巾下地区
光ヶ丘中学校	平成元	36	篠岡地区
小牧中学校	平成 9	28	小牧地区
味岡中学校	平成 26	11	味岡地区

第4章 篠岡地区学校再編計画

1 『しのおか学園』構想

篠岡地区は歴史と伝統のある旧篠岡村の地域と、丘陵地を切り開き桃花台ニュータウンとして造成され発展してきた地域を併せ持つ特色のある地域であり、古き良き田園風景や里山などの豊かな自然環境に加え、農業・工業・商業など多様な産業と充実した都市インフラがバランスよく存在しています。



こうした多様性に富んだ地域性と郷土の資源を効果的に活用するため、「しのおか」という一つの学び舎の中、一貫したカリキュラム・マネジメントのもと、義務教育9年間の連続した学びの充実を図ることで、子どもたちが多くの仲間との交流の中で豊かな情操と人間関係を醸成し、広い視野と課題に向き合う力を相互に育むことができる教育を目指します。



また、子どもたちが変化の激しい社会をたくましく生きられるよう、より一層、地域に根差し、地域に支えられながら、探究的、創造的な教育を実施することで、子どもたちの郷土愛や誇りを醸成するとともに、変化を恐れず進んで新しい物事に取り組むことができるチャレンジ精神を育みます。

その上で、篠岡地区は児童生徒数の減少が顕著であり、子どもたちが多くの仲間とともに学び、成長していく機会が損なわれかねない状況にあることから、子どもたちの将来を見据え、よりよい教育環境を整備し、一層の教育の充実を図るため、学校の再編により篠岡地区の小中学校を適正規模に近づけることとします。



2 『しのおか学園』が目指す児童生徒像

学び合える子

自ら課題をもち、仲間と協働しながら探究的に学ぶとともに、子どもたちが進んで新しい物事に取り組むことを通して、まだ見ぬ自分に出会う喜びを感じ、未来を生き抜く力を身に付けることができる。



認め合える子

良好な人間関係を築き、多様性を認め、自他を大切にすることができる。

また、多様な考えに触れることを通して自らの考えを見つめ直し、深めることができる。



関わり合える子

児童生徒同士の関わりだけでなく、教職員や家庭、地域とも関わり合うことで、夢や目標の実現に向けて支え合い、励まし合いながら努力することができる。



《 学び合える子 》

自ら課題をもち、仲間と協働しながら探究的に学ぶとともに、子どもたちが進んで新しい物事に取り組むことを通して、まだ見ぬ自分に出会う喜びを感じ、未来を生き抜く力を身に付けることができる。



《 認め合える子 》

良好な人間関係を築き、多様性を認め、自他を大切にすることができる。
また、多様な考えに触れることを通して自らの考えを見つめ直し、深めることができる。

しのおか学園



《 関わり合える子 》

児童生徒同士の関わりだけでなく、教職員や家庭、地域とも関わり合うことで、夢や目標の実現に向けて支え合い、励まし合いながら努力することができる。



3 学校規模適正化の具体的な方策

篠岡地区の小中学校を適正規模に近づけるため、児童生徒数と学校施設の老朽化の状況、通学距離を考慮した上で、子どもたちへの影響を最小化するため、既存の通学区域の編成を極力生かした学校再編を実施します。

また、篠岡地区については、児童生徒数の減少が顕著であるため、段階的な再編として、再編を2期に分け、まずは第1期の再編として、既存の校舎を利用した再編を早期に実施します。

(1) 第1期再編

篠岡地区については、現状においても1学年1学級の学校があり、さらに増えていくことに加え、今後は1学級あたりの人数が20人を切る学級が出てくる見込みをしています。



子どもたちが多様な考え方に触れ、社会性を養いながら成長をしていくためには、一定の学校規模を確保していくことが必要であり、可能な限り早く再編を行う必要があります。



早期の再編を実現するため、既存の校舎を利用した再編を行うこととし、令和9年度に現在の「小学校5校、中学校3校」を「小学校2校、中学校2校」に再編します。

表 篠岡地区の令和7年度の児童生徒数及び学級数

学校名	1年				2年				3年				4年				5年				6年				児童数 合計
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	
篠岡小	29	13	16	1	37	17	20	1	33	22	11	1	42	29	13	2	44	18	26	2	44	21	23	2	229
桃ヶ丘小	22	7	15	1	25	9	16	1	47	20	27	2	54	30	24	2	72	34	38	2	67	34	33	2	287
陶小	25	16	9	1	24	17	7	1	24	14	10	1	29	14	15	1	30	21	9	1	28	11	17	1	160
光ヶ丘小	38	24	14	2	51	21	30	2	42	21	21	2	40	20	20	2	52	23	29	2	53	26	27	2	276
大城小	32	15	17	1	47	24	23	2	38	17	21	1	47	28	19	2	37	21	16	1	51	29	22	2	252

学校名	1年				2年				3年				生徒数 合計
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	
篠岡中	50	22	28	2	48	29	19	2	49	25	24	2	147
桃陵中	120	63	57	4	119	61	58	3	161	79	82	4	400
光ヶ丘中	80	34	46	3	86	49	37	3	68	33	35	2	234

※ 住民基本台帳（令和7年6月3日現在）に基づく

表 篠岡地区に居住する未就学児の人数

学校区	R1度生まれ (R8入学予定)	R2度生まれ (R9入学予定)	R3度生まれ (R10入学予定)	R4度生まれ (R11入学予定)	R5度生まれ (R12入学予定)	R6度生まれ (R13入学予定)
篠岡小	34	21	34	17	24	22
桃ヶ丘小	23	31	30	28	14	16
陶 小	25	28	18	17	21	13
光ヶ丘小	40	29	33	29	20	11
大城小	26	35	26	22	30	15
合 計	148	144	141	113	109	77

※ 住民基本台帳（令和 7 年 6 月 3 日現在）に基づく

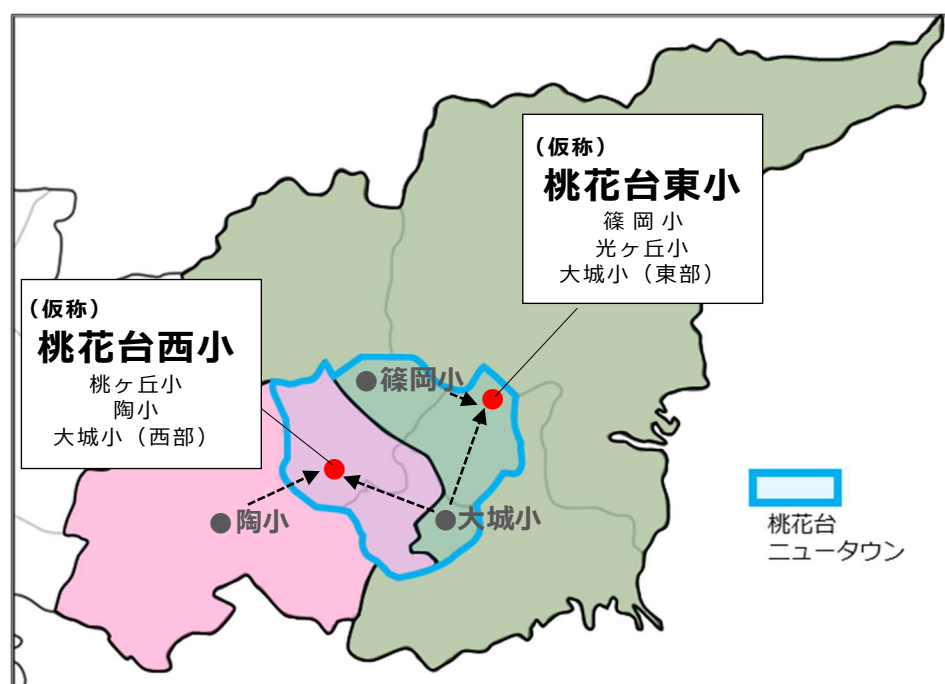
< 小学校 >

（仮称）桃花台東小学校

篠岡小学校、光ヶ丘小学校、大城小学校（うち大草、城山三丁目）を 1 校に集約し、光ヶ丘小学校の校舎を利用します。

（仮称）桃花台西小学校

桃ヶ丘小学校、陶小学校、大城小学校（うち城山二丁目、城山四丁目、城山五丁目）を 1 校に集約し、桃ヶ丘小学校の校舎を利用します。



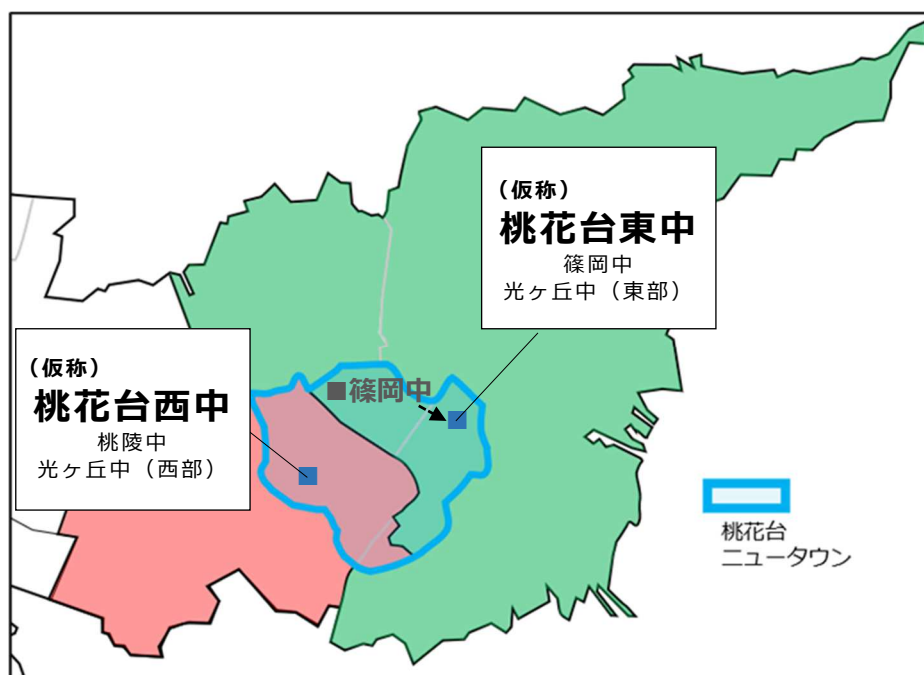
< 中学校 >

（仮称）桃花台東中学校

篠岡中学校、光ヶ丘中学校（うち城山四丁目を除く）を1校に集約し、光ヶ丘中学校の校舎を利用します。

（仮称）桃花台西中学校

桃陵中学校、光ヶ丘中学校（うち城山四丁目）を1校に集約し、桃陵中学校の校舎を利用します。

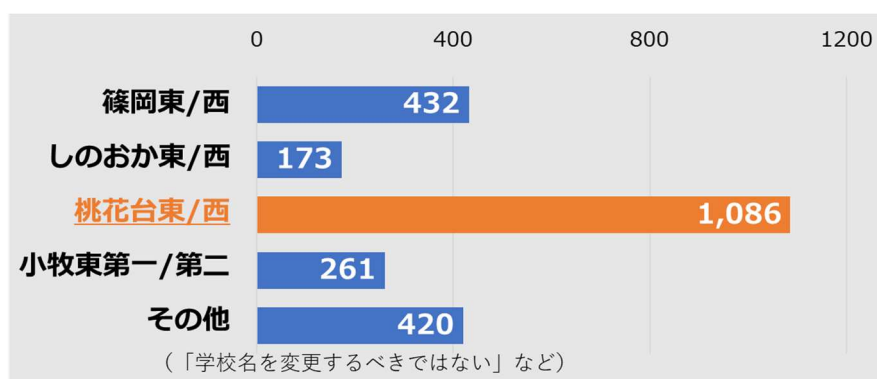


① 学校名について

本再編は、いわゆる「統廃合」ではなく、「しのおか学園」としての新たなスタートであることを児童生徒をはじめ、保護者、教職員、地域全体で共有できるよう、再編後は新たな学校名を用いることとします。

新たな学校名としては、より多くの方々に親しみと愛着を持っていただける学校名とするため、篠岡地区の児童生徒、保護者、住民等を対象にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、（仮称）桃花台東小学校／（仮称）桃花台東中学校、（仮称）桃花台西小学校／（仮称）桃花台西中学校とすることとしました。

図 新たな学校名に関するアンケート調査結果



② 小学校 2 校、中学校 2 校に再編する理由

小学校については、現状においても 1 学年 1 学級の学校があり、今後、さらに増えていく状況にあることから、目の前の子どもたちの教育環境を早急に改善するため、まずは令和 9 年度から当面の間の児童数の推計を基に 2 校に再編することとします。

中学校については、現状においても 1 校で受け入れ可能な生徒数まで減少していますが、本市においては、今後、義務教育 9 年間の学びと育ちをさらに繋いでいくため、小中一貫教育の導入を検討していくこととしており、将来的な導入を見据えた場合、小学校区と中学校区が同じ校区であることが理想的であることから、小学校が 2 校の場合、中学校も 2 校が望ましいと判断しました。

【再編後の児童生徒数・学級数の推計】

再編を実施した場合の児童生徒数及び学級数の推計は次のとおりです。

推計では、小学校は、当面の間、適正規模を維持できる見込みです。

中学校は、適正規模を下回りますが、当面の間は全学年２学級以上を維持できる見込みです。

表 再編後の児童生徒数・学級数の推計（中位推計）

< 小学校 >

（仮称）桃花台東小学校（光ヶ丘小学校）

学校名		R9年度							R15年度							R20年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
（仮称）桃花台東小 （光ヶ丘小）	人数	71	88	85	110	94	106	554	45	45	39	60	58	80	327	45	45	45	46	46	45	272
	学級数	3	3	3	4	3	4	20	2	2	2	2	2	3	13	2	2	2	2	2	2	12

学校名		R25年度							R30年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
（仮称）桃花台東小 （光ヶ丘小）	人数	45	45	45	45	45	45	270	44	44	45	45	45	45	268
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12

（仮称）桃花台西小学校（桃ヶ丘小学校）

学校名		R9年度							R15年度							R20年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
（仮称）桃花台西小 （桃ヶ丘小）	人数	73	61	61	73	89	106	463	40	38	38	49	56	63	284	39	40	40	41	41	40	241
	学級数	3	2	2	3	3	4	17	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12

学校名		R25年度							R30年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
（仮称）桃花台西小 （桃ヶ丘小）	人数	38	38	38	38	39	39	230	38	38	38	38	38	38	228
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12

< 中学校 >

（仮称）桃花台東中学校（光ヶ丘中学校）

学校名		R9年度				R15年度				R20年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
（仮称）桃花台東中 （光ヶ丘中）	人数	115	126	131	372	71	88	85	244	43	39	60	142
	学級数	4	4	4	12	3	3	3	9	2	2	2	6

学校名		R25年度				R30年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
（仮称）桃花台東中 （光ヶ丘中）	人数	43	43	44	130	43	43	43	129
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6

（仮称）桃花台西中学校（桃陵中学校）

学校名			R9年度				R15年度				R20年度			
			中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
（仮称）桃花台西中 （桃陵中）	人数		119	117	123	359	73	61	61	195	41	38	49	128
	学級数		4	4	4	12	3	2	2	7	2	2	2	6

学校名			R25年度				R30年度			
			中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
（仮称）桃花台西中 （桃陵中）	人数		42	42	42	126	41	41	41	123
	学級数		2	2	2	6	2	2	2	6

※学級数は特別支援学級を除く

※全学年 35 人学級で算出

③ 桃ヶ丘小学校、光ヶ丘小学校、桃陵中学校、光ヶ丘中学校の校舎を利用する理由

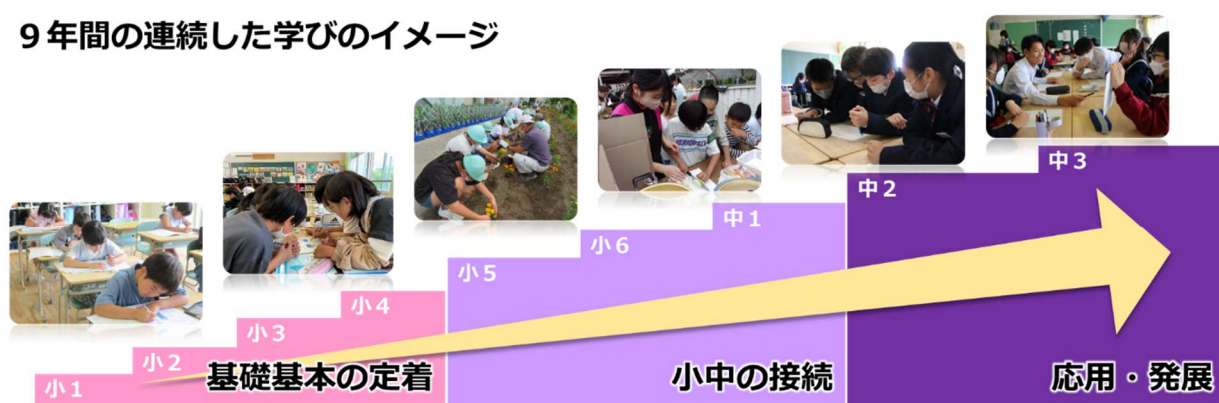
いずれの校舎も、市内の中では比較的残りの耐用年数が長い状況であり、施設の有効活用ができることに加え、再編後の児童生徒の通学距離を考慮した場合に、東西のバランスがよい位置関係にあります。

また、小学校と中学校が隣接していることで、学校間の交流が行いやすくなり、より小中学校の連携を強化することができます。

④ 小中一貫教育に向けた取組

「(仮称) 桃花台東小学校、(仮称) 桃花台東中学校」、「(仮称) 桃花台西小学校、(仮称) 桃花台西中学校」においては、将来的な小中一貫教育の導入に向けた取組として、小中の連携を強化し、9年間を意識したカリキュラムを実施していきます。

9年間の連続した学びのイメージ



⑤ 城山三丁目及び城山四丁目の通学区域

大城小学校区のうち光ヶ丘中学校区である城山三丁目及び城山四丁目については、通学の負担や地域住民の意向を踏まえた上で、通学区域を次のとおりとします。

	通学区域
城山三丁目	(仮称) 桃花台東小学校／(仮称) 桃花台東中学校 (光ヶ丘小学校／光ヶ丘中学校)
城山四丁目	(仮称) 桃花台西小学校／(仮称) 桃花台西中学校 (桃ヶ丘小学校／桃陵中学校)

ただし、保護者から本市への申請により、城山三丁目に居住する児童生徒は、(仮称) 桃花台西小学校及び(仮称) 桃花台西中学校(再編前の桃ヶ丘小学校／桃陵中学校)に、城山四丁目に居住する児童生徒は、(仮称) 桃花台東小学校及び(仮称) 桃花台東中学校(再編前の光ヶ丘小学校／光ヶ丘中学校)に通学する学校を変更できることとします。

図 城山三丁目及び城山四丁目の通学区域

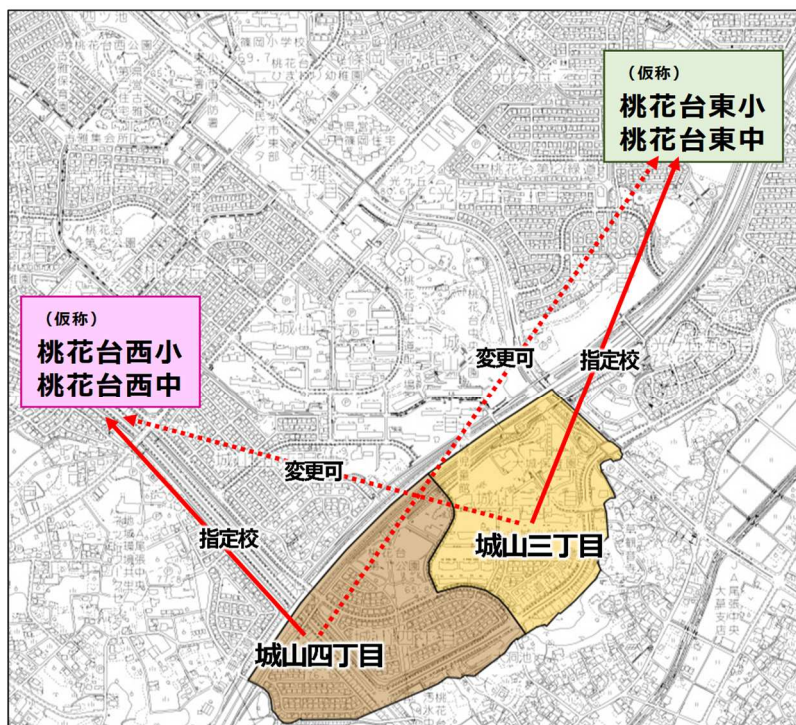


表 城山三丁目及び城山四丁目の通学区域に関するアンケート調査結果

		城山三丁目	城山四丁目
対象世帯数		80 世帯	33 世帯
回答世帯数		49 世帯	21 世帯
回答率		61.3%	63.6%
望ましいと思う通学区域	桃ヶ丘小／桃陵中	16 世帯 (32.7%)	16 世帯 (76.2%)
	光ヶ丘小／光ヶ丘中	33 世帯 (67.3%)	5 世帯 (23.8%)

⑥ 遠距離通学の対応

小学校については、通学距離が著しく遠距離である児童に対し、スクールバスを導入することで、通学による心身の負担の軽減及び安全確保を図ります。

また、中学校については、各学校が指定するエリアに居住する生徒は、自転車による通学を可能とします。

ア スクールバス運行日

スクールバスの運行日は、学校の登校日とし、休日や夏休み等の長期休暇は、運休しますが、運動会や出校日等の学校行事がある場合は、運行します。

イ スクールバス運行本数

登校時は1便とします。

下校時は、下校時刻の異なる低学年と高学年向けの運行に加えて、部活動に取り組む児童がスクールバスに乗れるよう、部活動の実施日については、最大3便を運行します。

ウ スクールバス利用料金

学校再編という市の施策によって通学距離が遠くなるという点を考慮し、児童は無料で利用できることとします。

エ スクールバス運行対象エリアの考え方

スクールバスの運行対象エリアは、通学距離が2 km 以上となる児童に加え、篠岡地区の地域の特性（学校までの高低差等）に配慮したエリアを設定することとし、具体的なエリアやスクールバスの停留所等については、今後、策定する「(仮称) スクールバス運行ガイドライン」の中で定めます。

なお、実際のスクールバスの対象者については、エリア内の児童からの利用希望申請を受け付ける中で、毎年、バスの定員や通学団の編成状況なども踏まえながら決定していきます。

オ スクールバス運行の安全対策

児童が無事にスクールバスに乗ったかどうか、保護者や学校が確認できる乗降確認システムや、バスへの置き去りを防止するためのシステムの導入など、保護者の安心と児童の安全の確保を図ります。



（２）第２期再編

第１期の再編として、令和９年度に小学校２校、中学校２校の再編を実施しますが、篠岡地区においては、再編以降も児童生徒数の減少が見込まれており、このまま減少が続けば、複数校の維持が困難になることが想定されます。

一方で、本市は、令和４年３月に「東部振興構想」を策定し、東部地区全体の魅力を高め、持続的に発展し続けるまちづくりを地域住民や関係団体等と連携しながら進めています。

今後、「東部振興構想」の取り組みの効果などから若い世代の転入や、児童生徒数の上昇が見られる場合には、あらためて、将来のあるべき姿を見直す必要があります。

そのため、第２期の再編時期については、今後の児童生徒数の推移や校舎の状況等を見ながらの判断となりますが、その際、第１期の再編後の子どもたちの変化などの検証を行ったうえで、改めて保護者や地域の方々の意見をお聴きして決定していきます。



< 小学校 > < 中学校 >

(仮称) しのおか学園

第2期再編では、篠岡小学校と篠岡中学校の敷地に新たな学校を設立（小学校1校、中学校1校に再編）し、第1期再編における小中連携強化の成果を踏まえ、小中一貫教育の導入に向けて検討を進めます。

なお、篠岡小学校と篠岡中学校の敷地を新たな学校の設置場所の候補としている理由は、周辺には東部市民センター、篠岡児童館、緊急時の対応が短時間で可能となる消防署東支署が隣接しており、様々な面で学校活動との連携が期待でき、地域一帯を学びの場と捉えることができることと、小学校と中学校が隣接しており、他の学校と比較して敷地面積が広いこと、加えて、子どもたちが学校に通いながら建設工事を行うことを避けることができ、子どもたちの安全を確保することや教育活動に支障が出ないようにすることができるためです。



4 第1期再編の主な取組

(1) 学校再編準備調査研究委員会の設置

令和7年7月に学校再編準備調査研究委員会を立ち上げ、新しい学校の開校に向けて必要な具体的な内容（教育課程・教育目標・校歌・校章・部活動など）について、協議・決定を進めています。

(2) 学校間交流について

再編により環境が大きく変わることは子どもたちの心身に少なからず負担になることが考えられます。

子どもたちの不安を取り除けるよう、再編前から環境に慣れることをねらいとした学校間の交流や、再編先の学校との合同活動を計画的に進めます。

(3) 校舎の改修・修繕

再編後に使用する桃ヶ丘小学校、光ヶ丘小学校、桃陵中学校、光ヶ丘中学校の校舎については、令和8年度中に老朽化が進んでいる箇所を改修・修繕し、児童生徒が安全に教育を受けられる環境を整備します。

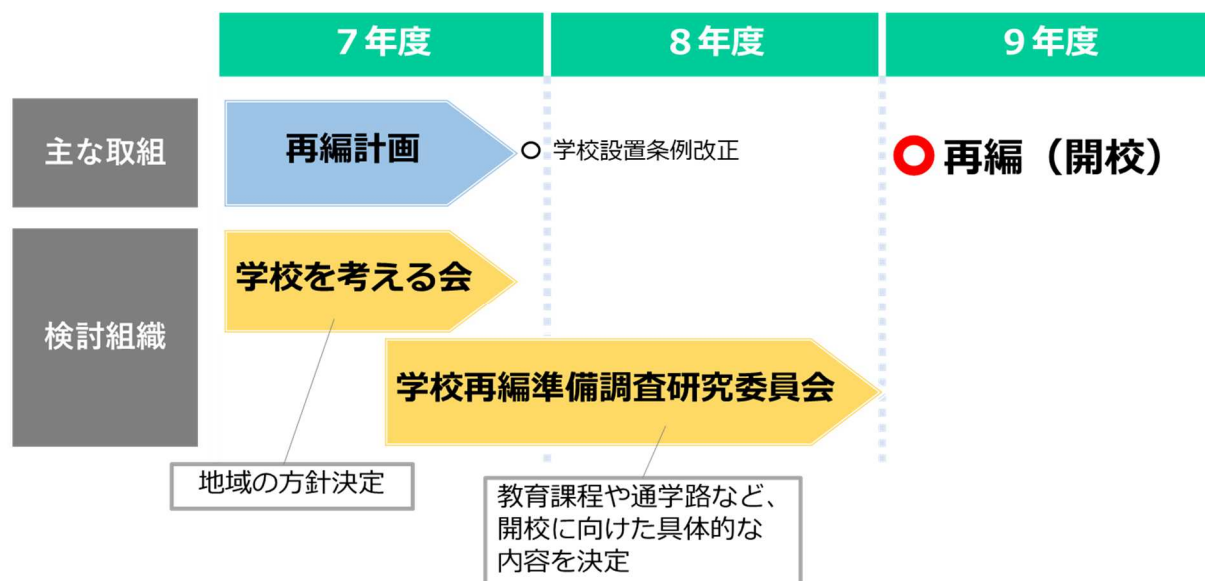
(4) 通学路の設定

児童生徒が安全に通学できる通学路を設定し、必要に応じて通学路のカラー塗装（みどり線）を行うなど、通学路の安全対策を実施します。



(5) スケジュール

令和9年度の開校に向けた主な取組とスケジュールは、次のとおりです。



	R7.10～	R8.1～	R8.4～	R8.7～	R8.10～	R9.1～	R9.4～
教育関係	(ビジョン等の検討)	★ (しのおが学園としての) 教育目標等の作成	(具体的な内容の検討)	★ 学校運営協議会 (地域への説明)	実施		
校章・校歌			(校章の募集、選考)	★ 校章決定			校歌の検討
学校用品	(取り扱いの検討)	★ 取り扱いの周知 (在校生、R8新入生)				★ 取り扱いの周知 (R9新入生)	
学校備品	(備品の洗い出し)	★ 移設計画の作成			(移設準備)	★ 移設	
施設改修	(改修内容、状況等の把握)			★ 普通教室等への転用に向けた改修		★ その他軽微な改修	
通学路	(地域等からの意見聴取、現地確認等)			★ 保護者等への説明	(安全対策等の実施)		
スクールバス	★ (バス停等の検討)	バス停 (案) の公表 (運行ガイドライン等の策定)	★ 運行委託の締結			(試験運行期間)	

注) スケジュール等に変更になる場合があります。

■ 参考資料

- (1) 策定の経過
- (2) 検討組織
- (3) 小学生アンケート調査
- (4) 中学生アンケート調査
- (5) 児童生徒の保護者アンケート調査
- (6) 未就学児の保護者アンケート調査
- (7) 城山三丁目及び城山四丁目の通学区域に関するアンケート調査
- (8) 新たな学校名に関するアンケート調査

(1)策定の経過

＜小牧市新たな学校づくり推進計画＞

年 月 日	内 容
令和5年 11月 20日	第1回小牧市新たな学校づくり推進計画検討委員会
令和5年 11月 29日	第1回小牧市新たな学校づくり推進計画調査検討部会
令和5年 12月 18日	第2回小牧市新たな学校づくり推進計画検討委員会
令和5年 12月 27日	第2回小牧市新たな学校づくり推進計画調査検討部会
令和6年 1月 15日 ～ 1月 31日	新たな学校づくりに関するアンケート調査
令和6年 1月 26日	令和5年度小牧市総合教育会議
令和6年 2月 21日	第3回小牧市新たな学校づくり推進計画検討委員会
令和6年 5月 2日	第4回小牧市新たな学校づくり推進計画検討委員会
令和6年 5月 17日	第3回小牧市新たな学校づくり推進計画調査検討部会
令和6年 6月 10日	第5回小牧市新たな学校づくり推進計画検討委員会
令和6年 7月 10日 ～ 8月 9日	パブリックコメント
令和6年 8月 21日	第6回小牧市新たな学校づくり推進計画検討委員会
令和6年 8月 30日	令和6年度小牧市総合教育会議
令和6年 9月 24日	計画策定

＜篠岡地区学校再編計画＞

年 月 日	内 容
令和7年 5月 10日	第1回篠岡地区の学校を考える会
令和7年 5月 30日	第2回篠岡地区の学校を考える会
令和7年 6月 27日	第3回篠岡地区の学校を考える会
令和7年 7月 14日 ～ 8月 11日	篠岡地区の学校再編に関するアンケート調査
令和7年 7月 27日	篠岡地区の学校再編（城山三丁目及び城山四丁目の通学区域）に関する説明会
令和7年 7月 28日 ～ 9月 1日	城山三丁目及び城山四丁目の通学区域に関するアンケート調査

令和7年 8月 24日	篠岡地区の学校再編に関する保護者等意見交換会①
	篠岡地区の学校再編に関する保護者等意見交換会②
令和7年 8月 30日	篠岡地区の学校再編に関する保護者等意見交換会③
令和7年 9月 21日	篠岡地区の学校再編に関する住民説明会
令和7年 10月 11日	第4回篠岡地区の学校を考える会
令和7年 11月 4日	令和7年度小牧市総合教育会議
令和7年 11月 10日 ～12月 9日	パブリックコメント
令和7年 11月 10日 ～12月 19日	新たな学校名に関するアンケート調査
令和8年 1月 13日	令和7年度小牧市通学区域審議会
令和8年 2月 7日	第5回篠岡地区の学校を考える会
令和8年 ●月 ●日	計画策定

(2)検討組織

篠岡地区の学校を考える会設置要綱

〔 令和 7 年 4 月 1 5 日 〕
〔 7 小教総第 1 2 6 号 〕

(設置)

第 1 条 児童生徒数の減少及び学校施設の老朽化が進む中、篠岡地区の小中学校の再編（以下「学校再編」という。）を進めるに当たり、篠岡地区の将来を展望した学校のあり方について、幅広い見地から検討するため、篠岡地区の学校を考える会（以下「考える会」という。）を置く。

(所掌事項)

第 2 条 考える会は、小牧市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が作成した学校再編計画の案その他学校再編に関する事項について、教育委員会の求めに応じ、意見を述べるものとする。

(組織等)

第 3 条 考える会は、委員 5 8 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 篠岡地区の小牧市 P T A 連絡協議会関係者
- (2) 篠岡地区の学校運営協議会委員
- (3) 篠岡地区の地域代表者
- (4) 篠岡地区の小中学校教職員
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

3 委員の任期は、任命の日から学校再編計画策定の完了の日までとする。

4 委員が第 2 項各号（第 5 号を除く。）の職を離れたときは、委員の職を失う。

(会長及び副会長)

第 5 条 考える会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、考える会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 考える会の会議は、会長が必要に応じて招集する。

2 考える会は、会議において必要があると認めるときは、議事に関係のある

者に対して出席を求め、その説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 考える会の庶務は、教育総務課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、考える会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和7年4月15日から施行する。
- 2 この要綱は、第3条第3項に規定する委員の任期の満了の日をもって、その効力を失う。

(3)小学生アンケート調査

「篠岡地区 学校再編計画」
に関するアンケート調査
＜小学生＞

結果報告書

小牧市教育委員会事務局 教育総務課

アンケート概要

1 調査対象

以下の小学校に通学している小学校4年生から6年生

篠岡小学校、桃ヶ丘小学校、陶小学校、光ヶ丘小学校、大城小学校

2 調査方法

インターネット回答方式

3 調査期間

令和7年7月 14 日～7月 17 日

4 回答数

対象者数	690 人
回答数	660 人
回答率	約 95.7%

5 集計表の見方

- ・ 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると、100%を超える場合があります。
- ・ 調査結果の比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。四捨五入の関係で、合計は 100%にならない場合があります。

6 その他

- ・ 小学校5・6年生は、第1期の学校再編が行われる可能性がある令和9年度には、中学生になっているため、今、学校再編が行われたらどう思うか、小学生の立場で回答していただいています。

調査結果

回答者の属性

<通学している小学校>

篠岡小学校	121 人（18.3%）
桃ヶ丘小学校	195 人（29.5%）
陶小学校	82 人（12.4%）
光ヶ丘小学校	138 人（20.9%）
大城小学校	124 人（18.8%）

<学年>

小学校4年生	210 人（31.8%）
小学校5年生	220 人（33.3%）
小学校6年生	230 人（34.8%）

質問1 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、どう感じますか？

楽しみだと思った	25.6%
少し心配だと思った	39.1%
とても不安だと思った	20.5%
あまり気にならない	14.8%

質問2 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、「心配」や「不安」なことはどんなことですか？（特に当てはまるものを3つまで）

学校や学級の雰囲気が変わってしまわないか	50.8%
新しい友達ができるか	46.2%
他の学校の様子がわからないこと	32.3%
知らない先生が増えること	30.9%
勉強についていけるか	20.2%
一人一人が使える図書室や運動場などのスペースが小さくならないか	17.7%
通学時間が長くなること	13.0%
その他	7.7%

「友達と離れること」、「知らない人が増えること」、
「違う学校同士で境界線ができそう」 など

質問3 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、「やってみたいこと」はありますか？（特に当てはまるものを2つまで）

新しい友達をつくりたい	62.3%
毎年クラス替えをして、新しい仲間と学びたい	30.9%
学校の行事をもっと楽しみたい	26.2%
いろいろな考え方に触れてみたい	11.4%
特にない	25.9%
その他	1.4%

「みんなと一緒に遊びたい」、「幼稚園の時の友達と遊びたい」、「部活動」 など

質問4 学校再編により通学路が変わるとしたら、気になる点がありますか？（当てはまるものすべて）

歩く距離が長くなることが不安	47.3%
安全性が心配（道の暗さなど）	37.1%
道路や交通量について不安	26.2%
特に気にならない	35.3%
その他	2.0%

「どういう道になるのかわからない」、「不審者が出ないか」 など

質問5 学校生活で大切だと思うことはなんですか？

(特に当てはまるものを2つまで)

仲のいい友達と過ごすこと	65.2%
新しいことをいろいろ学ぶこと	38.5%
行事やイベントを工夫したり楽しんだりすること	30.2%
先生から教えてもらったり助けてもらったりすること	20.9%
運動や体を動かすこと	21.7%
その他	2.0%

「仲間と協力すること」、「色々な人と学ぶこと」、「いじめを無くすこと」 など

質問6 学校生活の中でどのような力を身に付けたいと思いますか？

(特に当てはまるものを3つまで)

いろんな人と仲良くできるコミュニケーション力	67.6%
人の話を聞き、人の気持ちをわかろうとする力	38.6%
自分のよさを見つけて、それを生かしてがんばる力	28.8%
集団生活の中でみんなで力を合わせてなにかに取り組む団結力	27.9%
自分で物事を考えて、動くことができる力	27.7%
インターネットやタブレットを使って、情報を扱う力	16.2%
社会に役立とうとする思い	15.6%
英語などを使い、世界の人とつながって物事に取り組む力	13.8%
その他	0.8%

「相手の立場になって考える力」、「素早く動ける力」 など

調査票

つうがく がっこう がくねん おしえて

通学している学校と学年を教えてください。

い か せつもん えら
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

学 校	1. 篠岡小学校 2. 桃ヶ丘小学校 3. 陶小学校	4. 光ヶ丘小学校 5. 大城小学校
学 年	1. 4年生 2. 5年生 3. 6年生	

参 考

しつもん

じぶん

ほか

かん

質問1 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、どう感じますか？

1. 楽しみだと思おもう
2. 少し心配だと思おもう
3. とても不安だと思おもう
4. あまり気にならない

しつもん

じぶん

ほか

しんばい

ふあん

質問2 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、「心配」や「不安」

なことはありますか？

い か せつもん えら
以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

※1 篠岡、陶、大城小学校のみ

1. 新しい友達ができるか
2. 他の学校の様子がわからないこと
3. 学校や学級の雰囲気が変わってしまわないか
4. 勉強についていけるか
5. 知らない先生が増えること
6. 通学時間が長くなること※1
7. 一人一人が使える図書室や運動場などのスペースが小さくならないか
8. 特とくにない
9. その他()

しつもん じぶん た
質問3 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、「やってみたいこと」

はありますか？

い か せつもん えら
 以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

1. 新しい友達をつくりたい
あたら ともだち
2. いろいろな考え方に触れてみたい
かんが かんが かんが かんが
3. 学校の行事をもっと楽しみたい
がっこう ぎょうじ たの
4. 毎年クラス替えをして、新しい仲間と学びたい
まいとし が あたら なかま まな
5. 特にない
とく
6. その他（
た）

しつもん がっこうさいへん つうがくろ か き
質問4 学校再編により通学路が変わるとしたら、気になることはありますか？

い か せつもん えら
 以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

しのおか すえ おおしろ かいとう
 ※篠岡小学校、陶小学校、大城小学校のみご回答ください。

1. 安全性が心配（道の暗さなど）
あんぜんせい しんぱい みち くら
2. 道路や交通量について不安
どうろ こうつうりょう ふあん
3. 歩くきりが長くなることが不安
ある
4. 特に気にならない
とく き
5. その他（
た）

しつもん がっこうせいかつ たいせつ おもう
質問5 学校生活で大切なと思うことはなんですか？

い か せつもん えら
 以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

1. 仲のいい友達と過ごすこと
なか ともだち す ご す
2. 先生から教えてもらったり助けてもらったりすること
3. 新しいことをいろいろ学ぶこと
うんどう からだ うご
3. 運動や体を動かすこと
ぎょうじ
4. 行事やイベントを工夫したり楽しんだりすること
5. その他（
た）

しつもん がっこうせいかつ なか ちから み つ おも
質問6 学校生活の中でどのような力を身に付けたいと思いますか。

い か せつもん えら
 以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. いろんな人と仲良くできるコミュニケーション力
ひと なかよ
2. 集団生活の中でみんなで力を合わせてなにかに取り組む団結力
しゅうだんせいかつ なか と く だんけつりよく
3. 人の話を聞き、人の気持ちをわかろうとする力
ひと はなし き ひと き も ちから
4. 自分で物事を考えて、動くことができる力
じぶん ものごと かんが うご ちから
5. 社会に役立とうとする思い
しゃかい やくだ おも
6. 英語などを使い、世界の人とつながって物事に取り組む力
えいご つか せかい ひと ものごと と く ちから
7. インターネットやタブレットを使って、情報を扱う力
つか じょうほう あつか ちから
8. 自分のよさを見つけて、それを生かしてがんばる力
じぶん み い
9. よくわからない
10. その他（
た）

「篠岡地区 学校再編計画」
に関するアンケート調査
＜中学生＞

結果報告書

小牧市教育委員会事務局 教育総務課

アンケート概要

1 調査対象

以下の中学校に通学している中学校1年生から3年生

篠岡中学校、桃陵中学校、光ヶ丘中学校

2 調査方法

インターネット回答方式

3 調査期間

令和7年7月 14 日～7月 17 日

4 回答数

対象者数	782 人
回答数	690 人
回答率	約 88.2%

5 集計表の見方

- ・ 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると、100%を超える場合があります。
- ・ 調査結果の比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。四捨五入の関係で、合計は 100%にならない場合があります。

6 その他

- ・ 中学校2・3年生は、第1期の学校再編が行われる可能性がある令和9年度には卒業しているため、今、学校再編が行われたらどう思うか、中学生の立場で回答していただいています。

調査結果

回答者の属性

<通学している中学校>

篠岡中学校	133 人 (19.3%)
桃陵中学校	343 人 (49.7%)
光ヶ丘中学校	214 人 (31.0%)

<学年>

中学校1年生	218 人 (31.6%)
中学校2年生	230 人 (33.3%)
中学校3年生	242 人 (35.1%)

質問1 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、どう感じますか？

楽しみだと思った	23.0%
少し心配だと思った	40.6%
とても不安だと思った	19.4%
あまり気にならない	17.0%

質問2 自分の学校が他の学校と一緒にになるとしたら、「期待」することはどんなことですか？（特に当てはまるものを3つまで）

多くの友達をつくることができること	60.4%
学校行事（運動会、遠足、修学旅行など）が盛り上がること	53.8%
部活動の選択の幅が増えること	35.4%
競争意識をもって学力を高め合うことができること	16.1%
多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることができること	14.2%
先生の配置が多くなることで、多くの先生から勉強を教えてもらうことができること	13.3%
特にない	19.7%
その他	0.6%

「幼稚園の友達ともう一度学べること」 など

質問3 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、「心配」や「不安」なことはありますか？（特に当てはまるものを3つまで）

同級生の人数が増えることに伴う人間関係	51.7%
学校や学級の雰囲気	42.0%
家から学校までの距離や通学時間	34.3%
知らない先生が増えること	25.4%
成績や受験への影響	24.9%
部活動への影響	15.5%
一人一人が使用できる学校施設（図書室等）の割合が小さくなる	12.0%
通学路の安全確保	6.2%
特にない	12.8%
その他	2.3%

「知らない人が増えること」、「母校がなくなる悲しさ」、
「知らない人と一緒に行く修学旅行」など

質問4 現在の通学手段と通学時間を教えてください。

<通学手段>

徒歩	72.2%
自転車	26.5%
その他（保護者による送迎など）	1.3%

<通学時間>

10分未満	32.2%
10～20分未満	57.5%
20～30分未満	9.4%
30～40分未満	0.9%

質問5 学校再編により通学路などが変わるとしたら、気になる点がありますか？（当てはまるものを全て）

※篠岡中学校のみ

通学時間	23.3%
安全性（周りの明るさ、不審者対策など）	7.5%
自転車通学のエリアが心配	4.5%
道路や交通量	0.0%
特に気にならない	6.0%
その他（※回答なし含む）	58.6%

質問6 小学校から中学校への進学に伴う環境変化のうち、特に苦勞したことを教えてください。（特に当てはまるものを3つまで）

勉強の負荷の増大（定期テストなど）	62.9%
異なる小学校出身者同士の間関係の構築	29.1%
制服を着なければならないこと	28.3%
小学校の時のルールが変わったこと	20.7%
部活動の負荷の増大	14.1%
小学校時代の友人と別の中学校となったこと	13.9%
通学距離・時間の増大	12.0%
すべての教科で先生が変わること	10.3%
特に苦勞はなかった	15.9%
その他	0.6%

「クラスの中で慣れない人と一緒に過ごすこと」など

質問7 学校生活で大切だと思うことはなんですか？
（特に当てはまるものを2つまで）

仲のいい友達と過ごすこと	75.8%
行事やイベントを工夫したり楽しんだりすること	38.3%
新しいことをいろいろ学ぶこと	35.1%
運動や体を動かすこと	18.7%
先生から教えてもらったり助けてもらったりすること	14.6%
その他	0.7%

「楽しむこと」、「仲の悪い友達も仲良くすること」など

質問8 学校生活の中でどのような力を身に付けたいと思いますか。

以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

いろんな人と仲良くできるコミュニケーション力	76.1%
人の話を聞き、人の気持ちが理解できる力	37.8%
自分で物事を考えて、行動することができる力	35.1%
集団生活の中でみんなで力を合わせてなにかに取り組む団結力	32.3%
自分のよさを見つけて、それを発揮して活躍する力	30.9%
インターネットやタブレットを使って、情報を活用していく力	15.7%
社会に役立とうとする意欲	12.9%
英語などを使い、世界の人とつながって何かに取り組む力	10.6%
よくわからない	5.1%
その他	0.3%

「自分に今できることで、最も自分と他人のためになること」など

調査票

通学している学校と学年を教えてください。

以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

学 校	1. 篠岡中学校 2. 桃陵中学校 3. 光ヶ丘中学校
学 年	1. 1 年生 2. 2 年生 3. 3 年生

質問1 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、どう感じますか？

1. 楽しみだと思う
2. 少し心配だと思う
3. とても不安だと思う
4. あまり気にならない

質問2 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、「期待」することはありますか？

以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 多くの友達をつくることができること
2. 多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることができること
3. 先生の配置が多くなることで、多くの先生から勉強を教えてもらうことができること
4. 競争意識をもって学力を高め合うことができること
5. 部活動の選択の幅が増えること
6. 学校行事（運動会、遠足、修学旅行など）が盛り上がること
7. 特になし
8. その他（ ）

質問3 自分の学校が他の学校といっしょになるとしたら、「心配」や「不安」なことはありますか？

以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 同級生の人数が増えることに伴う人間関係
2. 知らない先生が増えること
3. 学校や学級の雰囲気
4. 一人一人が使用できる学校施設（図書室等）の割合が小さくなる
5. 家から学校までの距離や通学時間
6. 通学路の安全確保
7. 成績や受験への影響
8. 部活動への影響
9. 特にない
10. その他（ ）

質問5 学校再編により通学路などが変わるとしたら、気になる点がありますか。

以下の設問からあてはまるものを選んでください。（複数回答可）

※篠岡中学校のみご回答ください。

1. 安全性が心配（周りの明るさ、不審者対策など）
2. 道路や交通量について不安
3. 通学時間について不安
4. 自転車通学のエリアが心配
5. 特に気にならない
6. その他（ ）

質問6 小学校から中学校への進学に伴う環境変化のうち、特に苦勞したことを教えてください。

以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 異なる小学校出身者同士の間関係の構築
2. 小学校時代の友人と別の中学校となったこと
3. 勉強の負荷の増大（定期テストなど）
4. 部活動の負荷の増大
5. 通学距離・時間の増大
6. 制服を着なければならないこと
7. すべての教科で先生が変わること
8. 小学校の時のルールが変わったこと
9. 特に苦勞はなかった
10. その他（ ）

質問4 現在の通学手段と通学時間を教えてください。

以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

通学手段	1. 徒歩 2. 自転車 3. その他（保護者による送迎など）
通学時間	1. 10分未満 2. 10～20分未満 3. 20～30分未満 4. 30～40分未満 5. 40分以上

質問7 学校生活で大切だと思うことはなんですか？

以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

1. 仲のいい友達と過ごすこと
2. 先生から教えてもらったり助けてもらったりすること
3. 新しいことをいろいろ学ぶこと
4. 運動や体を動かすこと
5. 行事やイベントを工夫したり楽しんだりすること
6. その他（ ）

質問8 学校生活の中でどのような力を身に付けたいと思いますか。

以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. いろんな人と仲良くできるコミュニケーション力
2. 集団生活の中でみんなで力を合わせてなにかに取り組む団結力
3. 人の話を聞き、人の気持ちが理解できる力
4. 自分で物事を考えて、行動することができる力
5. 社会に役立とうとする意欲
6. 英語などを使い、世界の人とつながって何かに取り組む力
7. インターネットやタブレットを使って、情報を活用していく力
8. 自分のよさを見つけて、それを発揮して活躍する力
9. よくわからない
10. その他（ ）

「篠岡地区 学校再編計画」
に関するアンケート調査

＜児童生徒の保護者＞

結果報告書

小牧市教育委員会事務局 教育総務課

アンケート概要

1 調査対象

以下の小学校又は中学校に通学している児童生徒の保護者

篠岡小学校、桃ヶ丘小学校、陶小学校、光ヶ丘小学校、大城小学校
篠岡中学校、桃陵中学校、光ヶ丘中学校

2 調査方法

インターネット回答方式

3 調査期間

令和7年7月22日～8月11日

4 回答数

対象者数	1,361人
回答数	471人
回答率	約34.6%

5 集計表の見方

- ・調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると、100%を超える場合があります。
- ・調査結果の比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。四捨五入の関係で、合計は100%にならない場合があります。

6 その他

- ・本調査は1世帯1回のみ回答していただいています。

調査結果

回答者の属性

<児童生徒の学年>

小学校1年生	67人（10.1%）
小学校2年生	79人（11.9%）
小学校3年生	78人（11.8%）
小学校4年生	78人（11.8%）
小学校5年生	70人（10.6%）
小学校6年生	71人（10.7%）
中学校1年生	87人（13.1%）
中学校2年生	66人（10.0%）
中学校3年生	66人（10.0%）

※兄弟姉妹がいる場合は、該当する学年をすべて回答

<児童生徒が通学している小学校・中学校>

篠岡小学校	77人（13.9%）
桃ヶ丘小学校	70人（12.7%）
陶小学校	55人（10.0%）
光ヶ丘小学校	71人（12.9%）
大城小学校	83人（15.0%）
篠岡中学校	54人（9.8%）
桃陵中学校	81人（14.7%）
光ヶ丘中学校	61人（11.1%）

※兄弟姉妹がいる場合は、該当する学校をすべて回答

質問1 あなたは篠岡地区で学校再編に係る協議（篠岡地区の学校を考える会）が進んでいたことを知っていましたか？

知っていた	91.9%
知らなかった	8.1%

質問2 あなたは児童生徒数の減少などにより、今後、学年1クラスの学校が増えていくことについてどう思いますか？

問題だと思う	58.8%
問題ではないと思う	23.1%
よくわからない	18.0%

質問3 「問題だ」と思った理由について教えてください。（特に当てはまるものを3つまで）

クラス替えができず、人間関係のトラブルを解消しづらい	66.4%
新たな友人づくりの機会や交友関係が狭まる	65.7%
部活動などの種類や人数に限られる	53.8%
様々な考え方に触れる機会が減る	45.1%
学校行事（体育祭、文化祭など）が盛り上がらない	38.6%
学校の先生の人数が減る	9.7%
その他	0.7%

「少子化がどんどん進み将来の日本に不安を感じる」 など

質問4 「問題ではない」と思った理由について教えてください。（特に当てはまるものを3つまで）

先生が一人ひとりにきめ細かく相談にのってくれる	72.5%
学年を超えた交友関係が生まれる	69.7%
友人との人間関係が深まりやすい	56.0%
校庭や図書館などの共有スペースが広く使える	31.2%
静かで勉強に集中できる	20.2%
その他	6.4%

「学校生活に大きな影響はない」 など

質問5 学校再編を行うに当たり、期待する事項をお選びください。（特に当てはまるものを3つまで）

部活動やクラブ活動の選択の幅が広がること	55.2%
主体性や協調性を、集団のなかで身に付ける機会に恵まれること	52.2%
多くの友達ができる環境	48.6%
競争意識をもって学力を高め合うことができる環境になること	30.4%
グループ学習等により協力し合う学習ができること	22.3%
学年を越えた交流・活動（行事等）が増えること	18.0%
特になし	8.9%
その他	1.7%

「クラス替えができる」、「行事が盛り上がる」、「教員の増員」 など

質問6 学校再編を行うに当たり、配慮が必要だと思う事項をお選びください。
(特に当てはまるものを3つまで)

登下校時の安全性の確保	79.4%
子どもたちを取り巻く環境が変化することによる心理的負担を軽減する施策	72.0%
通学距離に応じた通学方法の設定	70.7%
それぞれの学校が育んできた特色ある教育活動の継続・維持	26.8%
地域コミュニティとのつながりの継続・維持	8.3%
再編に対する地域の理解を得ること	5.9%
特になし	0.8%
その他	5.3%

「いじめの増加」、「成績の影響」、「きめ細やかな対応」 など

質問7 あなたのお子様の現在のおおよその通学距離を教えてください。

500m 未満	16.0%
500m～1.0km 未満	34.8%
1km～1.5km 未満	25.0%
1.5km～2.0km 未満	14.3%
2.0km～2.5km 未満	6.5%
2.5km 以上	3.4%

質問8 スクールバスの導入に伴って心配な点を教えてください。
(特に当てはまるものを3つまで)

乗降時の確認洩れ対策	46.3%
乗り遅れへの対応	42.9%
乗降時の安全性の確保	32.1%
乗車中の安全性の確保	25.3%
歩く距離が短くなることによる体力や運動能力の低下	15.1%
台風など警報発令時の対応	13.6%
特になし	6.8%
その他	2.8%

「バスの対象エリア」、「バスの本数」 など

質問9 小中一貫教育について、どの程度ご存じですか。

よく知っている	4.9%
ある程度知っている	36.4%
あまり知らない	48.7%
全く知らない	10.0%

質問10 小中一貫教育に関して期待することをお選びください。
(特に当てはまるものを2つまで)

小学校の教員と中学校の教員が連携することによる、学習・生活指導の充実	46.1%
9年間の長期的なカリキュラムによる、学習意欲や学力の向上	34.4%
幅広い学年とのコミュニケーションによる、人間関係の広がりや豊かな心の育成	29.3%
小学校から中学校へ進学する際の環境に適應できない状態「中1ギャップ」の解消	27.6%
校舎や設備の充実	18.9%
特になし	9.6%
わからない	6.8%
その他	0.4%

「個別進度学習」 など

質問11 小中一貫教育に関して不安・心配することをお選びください。(特に当てはまるものを2つまで)

小学生と中学生の関わりによるトラブル	55.4%
教員の指導体制	44.8%
教育内容の変化	27.0%
特になし	12.7%
わからない	9.8%
その他	1.9%

「人間関係におけるトラブルをリセットする機会が無い」、
「小学生から中学生へ変わる変化の意識の低下」 など

質問12 現在の学校再編計画(案)における第2期再編(令和9年度以降の児童生徒数の減少や学校施設の老朽化の状況により、将来的に1小学校1中学校)について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

現計画案のとおり、第1期再編を踏まえて判断して実施してほしい	22.9%
さらに児童生徒数が著しく減ってきた場合はやむを得ない	35.0%
地域住民との対話をしたうえで、慎重に進めてほしい	22.3%
1小学校1中学校は反対	11.3%
わからない	4.7%
その他	3.8%

「2小2中体制にしてほしい」、「速やかに1小1中にした方がよい」、
「子どもが再編を2回経験することは避けてほしい」 など

1. 新たな友人づくりの機会や交友関係が狭まる
2. 様々な考え方に触れる機会が減る
3. クラス替えができず、人間関係のトラブルを解消しづらい
4. 学校行事（体育祭、文化祭など）が盛り上がらない
5. 部活動などの種類や人数に限られる
6. 学校の先生の人数が減る
7. その他（ ）

質問4 質問2（問題ではない）の理由を教えてください。

以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 友人との人間関係が深まる
2. 学年を超えた交友関係が生まれる
3. 静かで勉強に集中できる
4. 校庭や図書館などの共有スペースが広く使える
5. 先生が一人ひとりにきめ細かく相談にのってくれる
6. その他（

）

質問5 学校再編を行うに当たり、期待する事項をお選びください。

以下の設問からあてはまるものを3つまでお選びください。

1. 多くの友達ができる環境
2. 主体性や協調性を、集団のなかで身に付ける機会に恵まれること
3. グループ学習等により協力し合う学習ができること
4. 部活動やクラブ活動の選択の幅が広がること
5. 競争意識をもって学力を高め合うことができる環境になること
6. 学年を越えた交流・活動（行事等）が増えること
7. 特になし
8. その他（

）

質問6 学校再編を行うに当たり、配慮しなければならない事項をお選びください。

以下の設問からあてはまるものを3つまでお選びください。

1. 子どもたちを取り巻く環境が変化することによる心理的負担を軽減する施策
2. 登下校時の安全性の確保
3. 通学距離に応じた通学方法の設定
4. 地域コミュニティとのつながりの継続・維持
5. それぞれの学校が育てきた特色ある教育活動の継続・維持
6. 再編に対する地域の理解を得ること
7. 特になし
8. その他（

）

<通学について>

学校再編を行うにあたり、通学距離が著しく遠くなる児童への配慮として、小学生にはスクールバスを導入します。

スクールバスの対象エリア等は検討中であるため、詳細が決まり次第、随時お知らせします。

質問7 現在のおおよその通学距離を教えてください。

以下の設問からあてはまるものを1つお選びください。

※小学生の保護者のみ回答してください。

1. 500m 未満
2. 500m～1.0km 未満
3. 1km～1.5km 未満
4. 1.5km～2.0km 未満
5. 2.0km～2.5km 未満
6. 2.5km 以上

質問8 スクールバスの導入に伴って心配な点を教えてください。

以下の設問からあてはまるものを3つまでお選びください。

※小学生の保護者のみ回答してください。

1. 歩く距離が短くなることによる体力や運動能力の低下
2. 乗降時の確認洩れ対策
3. 乗降時の安全性の確保
4. 乗車中の安全性の確保
5. 乗り遅れへの対応
6. 台風など警報発令時の対応
7. 特になし
8. その他（

）

<小中一貫教育について>

小中一貫教育とは、小・中学校段階の教職員が、目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育です。

小牧市教育委員会では、小・中学校間での連携を強化することにより、子どもたちの発達段階に応じた、質の高い学びを提供したいと考え、小中一貫教育の導入を検討しております。

質問9 小中一貫教育について、どの程度ご存じですか。

以下の設問からあてはまるものを1つお選びください。

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. あまり知らない
4. 全く知らない

質問10 小中一貫教育に関して期待することをお選びください。

以下の設問からあてはまるものを2つまでお選びください。

1. 9年間の長期的なカリキュラムによる、学習意欲や学力の向上
2. 幅広い学年とのコミュニケーションによる、人間関係の広がりや豊かな心の育成
3. 小学校の教員と中学校の教員が連携することによる、学習・生活指導の充実
4. 小学校から中学校へ進学する際の環境に適應できない状態「中1ギャップ」の解消
5. 校舎や設備の充実
6. 特になし
7. わからない
8. その他 ()

質問11 小中一貫教育に関して不安・心配することをお選びください。

以下の設問からあてはまるものを2つまでお選びください。

1. 教育内容の変化
2. 小学生と中学生の関わりによるトラブル
3. 教員の指導体制
4. 特になし
5. わからない
6. その他 ()

質問12 現在の学校再編計画(案)における第2期再編(令和9年度以降の児童生徒数の減少や学校施設の老朽化の状況により、将来的に1小学校1中学校)について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

以下の設問からあてはまるものを 1つお選びください。

1. 現計画案のとおり、第1期再編を踏まえて判断して実施してほしい
2. さらに児童生徒数が著しく減ってきた場合はやむを得ない
3. 地域住民との対話をしたうえで、慎重に進めてほしい
4. 1小学校1中学校は反対
5. わからない
6. その他 ()

「篠岡地区 学校再編計画」
に関するアンケート調査

<未就学児の保護者>

結果報告書

小牧市教育委員会事務局 教育総務課

アンケート概要

1 調査対象

篠岡地区に居住する未就学児（0～6 歳）の保護者

2 調査方法

インターネット回答方式

3 調査期間

令和7年7月 28 日～8 月 11 日

4 回答数

対象者数	308 人
回答数	118 人
回答率	約 38.3%

5 集計表の見方

- ・ 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると、100%を超える場合があります。
- ・ 調査結果の比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。四捨五入の関係で、合計は 100%にならない場合があります。

6 その他

- ・ 本調査は1世帯1回のみ回答していただいています。

調査結果

回答者の属性

<未就学児の年齢>

0 歳	19 人 (11.9%)
1 歳	24 人 (15.1%)
2 歳	23 人 (14.5%)
3 歳	27 人 (17.0%)
4 歳	17 人 (15.7%)
5 歳	34 人 (21.4%)
6 歳	7 人 (4.4%)

※兄弟姉妹がいる場合は、該当する年齢をすべて回答

<小学校区>

篠岡小学校	25 人 (21.2%)
桃ヶ丘小学校	18 人 (15.3%)
陶小学校	28 人 (23.7%)
光ヶ丘小学校	20 人 (16.9%)
大城小学校	27 人 (22.9%)

質問1 あなたは篠岡地区で学校再編に係る協議（篠岡地区の学校を考える会）が進んでいたことを知っていましたか？

知っていた	83.1%
知らなかった	16.9%

質問2 あなたは児童生徒数の減少などにより、今後、学年1クラスの学校が増えていくことについてどう思いますか？

問題だと思う	68.6%
問題ではないと思う	27.1%
よくわからない	4.2%

質問3 「問題だ」と思った理由について教えてください。
（特に当てはまるものを3つまで）

新たな友人づくりの機会や交友関係が狭まる	71.6%
クラス替えができず、人間関係のトラブルを解消しづらい	65.4%
様々な考え方に触れる機会が減る	48.1%
部活動などの種類や人数が限られる	43.2%
学校行事（体育祭、文化祭など）が盛り上がらない	34.6%
学校の先生の人数が減る	9.9%
その他	0.0%

質問4 「問題ではない」と思った理由について教えてください。
（特に当てはまるものを3つまで）

先生が一人ひとりにきめ細かく相談にのってくれる	71.9%
友人との人間関係が深まる	65.6%
学年を超えた交友関係が生まれる	59.4%
静かで勉強に集中できる	37.5%
校庭や図書館などの共有スペースが広く使える	34.4%
その他	0.0%

質問5 学校再編を行うに当たり、期待する事項をお選びください。
（特に当てはまるものを3つまで）

多くの友達ができる環境	57.6%
主体性や協調性を、集団のなかで身に付ける機会に恵まれること	55.1%
部活動やクラブ活動の選択の幅が広がること	50.0%
グループ学習等により協力し合う学習ができること	29.7%
競争意識をもって学力を高め合うことができる環境になること	26.3%
学年を越えた交流・活動（行事等）が増えること	19.5%
特になし	8.5%
その他	4.2%

「先生が子ども一人ひとりとちゃんと向き合った学校生活」など

質問6 学校再編を行うに当たり、配慮が必要だと思う事項をお選びください。
（特に当てはまるものを3つまで）

登下校時の安全性の確保	88.1%
通学距離に応じた通学方法の設定	87.3%
子どもたちを取り巻く環境が変化することによる心理的負担を軽減する施策	61.0%
再編に対する地域の理解を得ること	13.6%
それぞれの学校が育んできた特色ある教育活動の継続・維持	12.7%
地域コミュニティとのつながりの継続・維持	7.6%
特になし	2.5%
その他	3.4%

「特色ある学校づくりをしてほしい」 など

質問7 スクールバスの導入に伴って心配な点を教えてください。
（特に当てはまるものを3つまで）

乗降時の確認洩れ対策	72.0%
乗り遅れへの対応	50.0%
乗降時の安全性の確保	43.2%
乗車中の安全性の確保	40.7%
台風など警報発令時の対応	20.3%
歩く距離が短くなることによる体力や運動能力の低下	19.5%
特になし	5.9%
その他	5.1%

「バスの対象エリア」、「バスだと、登下校でお友達と仲良くなったり、遊びながら楽しく帰ってくる思い出がなくなる」 など

質問8 小中一貫教育について、どの程度ご存じですか。

よく知っている	11.0%
ある程度知っている	28.0%
あまり知らない	50.0%
全く知らない	11.0%

質問9 小中一貫教育に関して期待することをお選びください。
（特に当てはまるものを2つまで）

幅広い学年とのコミュニケーションによる、人間関係の広がりや豊かな心の育成	42.4%
小学校の教員と中学校の教員が連携することによる、学習・生活指導の充実	34.7%
9年間の長期的なカリキュラムによる、学習意欲や学力の向上	32.2%
小学校から中学校へ進学する際の環境に適応できない状態「中1ギャップ」の解消	28.8%
校舎や設備の充実	23.7%
特になし	8.5%
わからない	2.5%
その他	0.0%

質問10 小中一貫教育に関して不安・心配することをお選びください。

(特に当てはまるものを2つまで)

小学生と中学生の関わりによるトラブル	74.6%
教員の指導体制	54.2%
教育内容の変化	24.6%
特になし	7.6%
わからない	3.4%
その他	3.4%

「固定された人間関係のなかで起こるトラブル」、
「いじめ加害者と長期間関わることになること」 など

質問11 現在の学校再編計画(案)における第2期再編(令和9年度以降の児童生徒数の減少や学校施設の老朽化の状況により、将来的に1小学校1中学校)について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

現計画案のとおり、第1期再編を踏まえて判断して実施してほしい	22.0%
さらに児童生徒数が著しく減ってきた場合はやむを得ない	32.2%
地域住民との対話をしたうえで、慎重に進めてほしい	24.6%
1小学校1中学校は反対	14.4%
わからない	2.5%
その他	4.2%

「最初から第2期案を進めた方がコストや子供の心理的不安も減るのでは」、
「なるべく早く進めてもらいたい」 など

調査票

あなたのお子様の 7 月末現在の年齢を教えてください。

以下の設問からあてはまるものをお選びください。

※未就学児のみ

※兄弟姉妹がいる場合は、全てのお子様の年齢を回答してください。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 0 歳 | 2. 1 歳 | 3. 2 歳 | 4. 3 歳 | 5. 4 歳 |
| 6. 5 歳 | 7. 6 歳 | | | |

あなたのお子様が通学する予定の令和 7 年度時点の小学校区を教えてください。

以下の設問からあてはまるものをお選びください。

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1. 篠岡小学校 | 2. 桃ヶ丘小学校 | 3. 陶小学校 |
| 4. 光ヶ丘小学校 | 5. 大城小学校 | |

質問 1 篠岡地区で学校再編に係る協議（篠岡地区の学校を考える会）が進んでいたことを知っていましたか。

以下の設問からあてはまるものを 1 つお選びください。

- | |
|-----------|
| 1. 知っていた |
| 2. 知らなかった |

質問 2 児童生徒数の減少などにより、今後、学年 1 クラスの学校が増えていくことについてどう思いますか？

以下の設問からあてはまるものを 1 つ選んでください。

- | |
|--------------|
| 1. 問題だと思う |
| 2. 問題ではないと思う |
| 3. よくわからない |

質問 3 質問 2（問題だ）の理由を教えてください。

以下の設問からあてはまるものを 3 つまで選んでください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 新たな友人づくりの機会や交友関係が狭まる |
| 2. 様々な考え方に触れる機会が減る |
| 3. クラス替えができず、人間関係のトラブルを解消しづらい |
| 4. 学校行事（体育祭、文化祭など）が盛り上がらない |
| 5. 部活動などの種類や人数に限られる |
| 6. 学校の先生の人数が減る |
| 7. その他（ |

質問4 質問2（問題ではない）の理由を教えてください。

以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 友人との人間関係が深まる
2. 学年を超えた交友関係が生まれる
3. 静かで勉強に集中できる
4. 校庭や図書館などの共有スペースが広く使える
5. 先生が一人ひとりにきめ細かく相談にのってくれる
6. その他（

質問5 学校再編を行うに当たり、期待する事項をお選びください。

以下の設問からあてはまるものを3つまでお選びください。

1. 多くの友達ができる環境
2. 主体性や協調性を、集団のなかで身に付ける機会に恵まれること
3. グループ学習等により協力し合う学習ができること
4. 部活動やクラブ活動の選択の幅が広がること
5. 競争意識をもって学力を高め合うことができる環境
6. 学年を越えた交流・活動（行事等）が多いこと
7. 特になし
8. その他（

質問6 学校再編を行うに当たり、配慮しなければならない事項をお選びください。

以下の設問からあてはまるものを3つまでお選びください。

1. 子どもたちを取り巻く環境が変化することによる心理的負担を軽減する施策
2. 登下校時の安全性の確保
3. 通学距離に応じた通学方法の設定
4. 地域コミュニティとのつながりの継続・維持
5. それぞれの学校が育んできた特色ある教育活動の継続・維持
6. 再編に対する地域の理解を得ること
7. 特になし
8. その他（

<通学について>

学校再編を行うにあたり、通学距離が遠くなる児童への配慮として、小学生にはスクールバスを導入します。

スクールバスの対象エリア等は検討中であるため、詳細が決まり次第、随時お知らせします。

質問7 スクールバスの導入に伴って心配な点を教えてください。

以下の設問からあてはまるものを3つまでお選びください。

1. 歩く距離が短くなることによる体力や運動能力の低下
2. 乗降時の確認洩れ対策
3. 乗降時の安全性の確保
4. 乗車中の安全性の確保
5. 乗り遅れの対応
6. 台風など警報発令時の対応
7. 特になし
8. その他（

<小中一貫教育について>

小中一貫教育とは、小・中学校段階の教職員が、目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育です。

小牧市教育委員会では、小・中学校間での連携を強化することにより、子どもたちの発達段階に応じた、質の高い学びを提供したいと考え、小中一貫教育の導入を検討しております。

質問8 小中一貫教育について、どの程度ご存じですか。

以下の設問からあてはまるものを1つお選びください。

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. あまり知らない
4. 全く知らない

質問9 小中一貫教育に関して期待することをお選びください。

以下の設問からあてはまるものを2つまでお選びください。

1. 9年間の長期的なカリキュラムによる、学習意欲や学力の向上
2. 幅広い学年とのコミュニケーションによる、人間関係の広がりや豊かな心の育成
3. 小学校の教員と中学校の教員が連携することによる、学習・生活指導の充実
4. 小学校から中学校へ進学する際の環境に適応できない状態「中1ギャップ」の解消
5. 校舎や設備の充実
6. 特になし
7. わからない
8. その他()

質問10 小中一貫教育に関して不安・心配することをお選びください。

以下の設問からあてはまるものを2つまでお選びください。

1. 教育内容の変化
2. 小学生と中学生の関わりによるトラブル
3. 教員の指導体制
4. 特になし
5. わからない
6. その他（

質問Ⅱ 現在の学校再編計画(案)における第2期再編(令和9年度以降の児童生徒数の減少や学校施設の老朽化の状況により、将来的に1小学校1中学校)について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

以下の設問からあてはまるものを1つお選びください。

1. 現計画案のとおり、第1期再編を踏まえて判断して実施してほしい
2. さらに児童生徒数が著しく減ってきた場合はやむを得ない
3. 地域住民との対話をしたうえで、慎重に進めてほしい
4. 1小学校1中学校は反対
5. わからない
6. その他（

(7)城山三丁目及び城山四丁目の通学区域に関するアンケート調査

アンケート概要

1 調査対象

令和7年6月23日時点で城山三丁目、城山四丁目に住民票を置き、かつ中学生以下の児童生徒（未就学児）が居住する世帯

2 調査方法

インターネット方式

3 調査期間

令和7年7月28日～8月11日

4 回答数等

対象世帯総数	113 世帯		
うち城山三丁目	80 世帯		
うち城山四丁目	33 世帯		
回答総数	73 世帯	回答率	64.6%
うち城山三丁目	49 世帯	回答率	61.3%
うち城山四丁目	21 世帯	回答率	63.6%
不明	3 世帯	回答率	—

調査結果

質問1 城山三丁目、四丁目の子どもたちにとって望ましいと思う通学区域（学区）を次のうちかつ選んでください。

（内訳）

	回答数	三丁目	四丁目
光ヶ丘小学校／光ヶ丘中学校	41 世帯 ※不明 3 世帯含む	33 世帯	5 世帯
桃ヶ丘小学校／桃陵中学校 ※下記の対応（在校生は光ヶ丘中で卒業等）を必要と思う場合もこちら	32 世帯	16 世帯	16 世帯

城山三・四丁目を「桃ヶ丘小・桃陵中」の区域とする場合の経過措置（案）

城山三・四丁目を「桃ヶ丘小・桃陵中」とした場合・・・

○ 再編時点で光ヶ丘中に通学している城山三・四丁目の**中学生（2、3年生）**は、**再編前の学校（光ヶ丘中）で卒業**します。

○ R9年度以降の新入生（中学1年生）は、当面の間（2年程度）、兄弟姉妹がすでに光ヶ丘中学校に通っているなど、**個別の事情に応じて、光ヶ丘中も選択できる**ようにします。

◇ ただし、城山三・四丁目の**小学生**については、**通学の負担と通学団の編成などによる安全性を優先し、桃ヶ丘小に通学**することとします。

R9年度時点での中2・中3



R9年度以降の新入生



質問2 あなたは上記のような経過措置についてどう思いますか？

（質問1で「桃ヶ丘小学校／桃陵中学校」を回答した方のみ）

（内訳）

	回答数	三丁目	四丁目
必要だと思う	31 世帯	16 世帯	15 世帯
必要ないと思う	1 世帯	0 世帯	1 世帯

自由意見欄（主な意見のみ）

四丁目は桃小・桃陵中学区の方が良いと思うが、三丁目は距離や行き方を考えると光ヶ丘の方がよい。
三丁目と四丁目でも状況が違うため、必ずしも同じ学区にせず、分けるということも検討していただきたい。
三丁目と四丁目ともに、桃小・桃陵中学区の方が全体の負担は少なく望ましいと思う。
もともとは光ヶ丘校区なのだからどうしても桃ヶ丘に通いたい家庭だけ許可すればよいのではないかな。
安心して歩ける通学路（サークルロード）もあり、見守ってくださる地域の人にも根付いている光ヶ丘校区を希望する。
既存の中学校区をもとに再編を進めることが、兄弟間の通学や制服の問題を回避できるため、最も混乱が少ない方法。
在学生の兄弟がいる世帯だけでなく、既卒の兄弟のいるような世帯の希望も汲んでいただきたい。
スクールバスを出してほしい。
大城小の生徒を分けなくて再編出来たら嬉しい。
もし桃ヶ丘小、桃陵中に通う場合、大草の子もどちらにするか選択できるといい。
基本の学校区を設定した上で、現在小学校に通っている子に限り、特例でどちらも選択できるようにすればよいのではないかな。

(8)新たな学校名に関するアンケート調査

アンケート概要

1 調査対象

- ① 篠岡地区の小学校4年生から6年生、中学校1年生から3年生
- ② 篠岡地区の小中学生の保護者
- ③ 篠岡地区にお住まいの未就学児の保護者
- ④ 篠岡地区の小中学校にお勤めの教職員
- ⑤ 篠岡地区にお住まいの方

2 調査方法

- ・インターネット方式
- ・紙方式（東部市民センターに用紙・回収箱を設置）

3 調査期間

令和7年 11 月 10 日～12 月 19 日

<新たな学校名（候補）>

	(現)桃ヶ丘小/桃陵中	(現)光ヶ丘小/光ヶ丘中	考え方
案1	篠岡西 小学校	篠岡東 小学校	かつて、東部地域一帯が「篠岡村」であったことから、こうした郷土の歴史を引き継ぐとともに、地域一帯を1つの学び舎と考える「しのおか学園構想」の趣旨を最も良く体现しているものとして考えたものです
	篠岡西 中学校	篠岡東 中学校	
案2	しのおか西 小学校	しのおか東 小学校	かつて、東部地域一帯が「篠岡村」であったことから、こうした郷土の歴史を引き継ぐとともに、地域一帯を1つの学び舎と考える「しのおか学園構想」の趣旨を最も良く体现しているものとして、とりわけ新しい学校であることが際立つよう「ひらがな」を使用することを考えたものです
	しのおか西 中学校	しのおか東 中学校	
案3	桃花台西 小学校	桃花台東 小学校	学校再編により新しい学校としてスタートすることが伝わるよう、現在の学校名に使用されていない地域名のうち、再編後の学校が桃花台ニュータウン内にあることから考えたものです
	桃花台西 中学校	桃花台東 中学校	
案4	小牧東第一 小学校	小牧東第二 小学校	学校再編により新しい学校としてスタートすることが伝わるよう、現在の学校名に使用されていない地域名のうち、再編後の学校が小牧市の東部地域にあることから考えたものです
	小牧東第一 中学校	小牧東第二 中学校	
その他	回答者からの提案など		

※案4は旧学校施設の建制順で「第一／第二」としています

調査結果

1 回答者数（回答数）

1,925 人（2,372 件）

2 集計結果

	(現)桃ヶ丘小/桃陵中	(現)光ヶ丘小/光ヶ丘中	回答数
案1	篠岡西 小学校	篠岡東 小学校	432件
	篠岡西 中学校	篠岡東 中学校	
案2	しのおか西 小学校	しのおか東 小学校	173件
	しのおか西 中学校	しのおか東 中学校	
案3	桃花台西 小学校	桃花台東 小学校	1,086件
	桃花台西 中学校	桃花台東 中学校	
案4	小牧東第一 小学校	小牧東第二 小学校	261件
	小牧東第一 中学校	小牧東第二 中学校	
その他	回答者からの提案など		420件

「学校名は変更するべきではない」など